

平成27年度 社会福祉法人ときわ会 事業報告書

自 平成27年 4月 1日
至 平成28年 3月31日

1. 法人の概況

事業所所在地	: 江南市河野町五十間88番地
電話番号	: (0587) 57-7551
代表者職氏名	: 理事長 大池良平
許可年月日	: 昭和55年12月18日
認可番号	: 厚生省収児第1167号
設立登記年月日	: 昭和56年 1月 7日

2. 法人の行う事業

平成28年3月31日現在

社会 福祉 事業	第一種	施設種別 : 障害者支援施設 (生活介護・施設入所支援) 名称 : ふじの木園 施設長名 : 春日井昌市 定員 : 50名
	第二種	事業種別 : 障害福祉サービス事業 (生活介護) 名称 : ときわ作業所 施設長名 : 三ツ口和男 定員 : 55名
		事業種別 : 地域活動支援センター (Ⅱ型) 【江南市指定管理】 名称 : 江南市在宅障害者デイ・サービス施設あゆみ 管理者名 : 春日井裕美 定員 : 25名
		事業種別 : 地域活動支援センター (Ⅲ型) 【江南市指定管理】 名称 : 江南市心身障害者小規模授産施設 施設長名 : 三ツ口和男 定員 : 概ね15名
		事業種別 : 障害福祉サービス事業 (短期入所) 名称 : ふじの木園 施設長名 : 春日井昌市 定員 : 5名
		事業種別 : 障害福祉サービス事業 (共同生活援助 (介護サービス包括型グループホーム)) 名称 : ときわホーム「ニコット」 施設長名 : 三ツ口和男 定員 : 6名
		事業種別 : 障害福祉サービス事業 (特定相談支援) 名称 : ふじの木園 施設長名 : 春日井昌市

公益事業	事業種別	: 貸館事業【江南市指定管理】
	名称	: 江南在宅障害者デイ・サービス施設あゆみ
	施設長名	: 春日井裕美
	定員	: 25名
	事業種別	: 日中一時支援事業
	名称	: ときわ作業所
	施設長名	: 三ツ口和男
	定員	: 5名
	事業種別	: 日中一時支援事業
名称	: ふじの木園	
施設長名	: 春日井昌市	
定員	: 5名	

3. 職員数

平成28年3月31日現在

施設名	事業名	雇用別	施設長	事務長	サビ管	看護師	栄養士	相談員	支援員	事務員	介助員	運転手	世話人	計	合計	
ふじの木園	生活介護 施設入所支援 短期入所 日中一時	常勤	正規	1 (1)	※1	1	1	1	15 (1)	1				20 (2)	28 (2)	
			契約						2					2 (0)		
		非常勤							6					6 (0)		
	特定相談支援	常勤	正規	1 (1)					2 (1)						3 (2)	3 (2)
			契約												0 (0)	
		非常勤													0 (0)	
ときわ作業所	生活介護 日中一時	常勤	正規	1 (1)		1			3 (3)					5 (4)	22 (9)	
			契約						6 (3)	1				7 (3)		
		非常勤				1 (1)			9 (1)					10 (2)		
ときわホーム	共同生活援助	常勤	正規	1 (1)		1 (1)			4 (4)					6 (6)	12 (9)	
			契約						3 (3)					3 (3)		
		非常勤											3	3 (0)		
あゆみ (II)型	地域活動 センター	常勤	正規	※1					2	1 (1)				3 (1)	10 (3)	
			契約											0 (0)		
		非常勤				2 (1)			2		1	2 (1)		7 (2)		
小規模 (III)型	地域活動 センター	常勤	正規	1 (1)					2 (2)	1 (1)				4 (4)	6 (4)	
			契約						1					1 (0)		
		非常勤							1					1 (0)		

- ・職種の「サビ管」は「サービス管理責任者」の略
- ・職員数の()は他事業所との兼務として再掲
- ・職員数の※は同一事業所内での兼務

4. 主務官庁指示に関する事項（運営）

ア 社会福祉法人等への指導監査（愛知県）

監 査 実 施 日	平成28年 2月15日
監 査 方 法	書面監査
監 査 対 象 事 項	ふじの木園（運営・経理）
監 査 実 施 官 庁	愛知県健康福祉部 健康福祉総務課 監査指導室法人監査グループ

指 示 事 項	履 行 状 況

イ 社会福祉法人等への指導監査（江南市）

監 査 実 施 日	平成28年 1月29日
監 査 方 法	実地監査
監 査 対 象 事 項	特定相談支援事業所 ふじの木園
監 査 実 施 官 庁	江南市健康福祉部 福祉課

指 示 事 項	履 行 状 況
平成28年1月29日付 江南市長 澤田和延 27江福第719号 監査対象：ふじの木園 監査結果：指摘事項なし	

5. 契約に関する事項

平成28年3月31日現在

契約年月日	相手方名称	目 的	期 間	賃貸料	その他
平成12年 4月 1日	江南市	更生施設用地	30年	無償	申出更新
平成13年 4月 1日	堀場美喜夫	畑	1年	無償	自動更新
平成14年 4月 1日	滝敏之	畑	1年	無償	自動更新
平成14年 4月 1日	伊藤昇	畑	1年	無償	自動更新
平成14年 4月 1日	森博一	畑	1年	無償	自動更新
平成19年12月18日	高田大覚	畑	1年	無償	自動更新

6. 寄付金に関する事項

平成28年3月31日現在

寄付の目的	寄付者（敬称略）	金額 円
社会福祉 事業資金 （本部）	江南市社会福祉協議会	1,600,000円
	㈱壺番屋	34,600円
	江南市農業まつり運営協議会	15,695円
	ときわ会後援会2件	847,221円
	ふくし江南ふれあいまつり実行委員会	47,000円
	小計6件	2,544,516円
ときわ作業所	長谷川豊10件	123,000円
	ときわ・小規模保護者会2件	415,000円
	ときわ会後援会	400,000円
	愛知県共同募金会	46,000円
	仲市美智枝	5,000円
	小計15件	989,000円
ふじの木園	森内本造12件	149,000円
	ふじの木園保護者会4件	4,119,100円
	ときわ会後援会	450,000円
	愛知県共同募金会	47,000円
	山崎郁子	20,000円
	小計19件	4,785,100円
	合計40件	8,318,616円

7. 資産（土地・建物）の状況

平成28年3月31日現在

科目	所在地	地目又は構造	面積		用途	担保提供の状況			抵当権設定 年月日
			定款	登記簿		提供の有無	提供先	所轄庁の承認の有無	
基本財産			㎡	㎡					
1 土地	江南市後飛保町高瀬69番	宅地	926.08	926.08		無			
	江南市後飛保町高瀬68番	宅地	260.00	260.00		無			
	江南市後飛保町高瀬67番1	雑種地	35	35.00		無			
	江南市後飛保町高瀬67番2	雑種地	57	57.00		無			
	江南市後飛保町高瀬67番3	雑種地	50	50.00		無			
	江南市後飛保町高瀬67番4	雑種地	75	75.00		無			
	江南市後飛保町高瀬67番5	雑種地	31	31.00		無			
	江南市後飛保町高瀬54番	雑種地	194	194.00		無			
	江南市後飛保町高瀬55番	雑種地	302	302.00		無			
	江南市河野町五十間87番	雑種地	321	321.00		無			
	江南市河野町五十間115番	宅地	962.00	962.0		無			
	江南市宮田神明町旭190番	畑	365	365		無			
2 建物	江南市後飛保町高瀬69番地	鉄筋コンクリート造 陸屋根2階建	900.32	900.32	ときわ作業所	無			
	江南市後飛保町高瀬68番地								
	江南市河野町五十間88番地	鉄筋コンクリート造 4階建	2,112.51	2,112.51	ふじの木園	有	独立行政法人 福祉医療機構	平成14年2月28日	
	江南市河野町五十間115番地	木造平屋建	257.35	257.35	ときわホーム	無			

8. 理事会開催状況

開催 年月日	議 題	監事 出席
平成27年 5月27日	<ul style="list-style-type: none"> ①議案第1号 評議員の辞任に伴う評議員の選任について ②議案第2号 指定障害者支援施設ふじの木園運営規程の一部改正について ③議案第3号 指定短期入所事業所ふじの木園運営規程の一部改正について ④議案第4号 ふじの木園（日中一時支援事業）運営規程の一部改正について ⑤議案第5号 指定生活介護事業所ときわ作業所運営規程の一部改正について ⑥議案第6号 ときわ作業所（日中一時支援事業）運営規程の一部改正について ⑦議案第7号 指定特定相談支援事業所ふじの木園運営規程の一部改正について ⑧議案第8号 平成26年度「本部」・「ふじの木園」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施」・「あゆみ」の事業報告について ⑨議案第9号 平成26年度社会福祉事業区分収支決算について 	有
平成27年 11月26日	<ul style="list-style-type: none"> ①議案第10号 職員就業規則の一部改正について ②議案第11号 職員給与等支給規程の一部改正について ③議案第12号 契約職員雇用規程の一部改正について ④議案第13号 パート職員雇用規程の一部改正について ⑤議案第14号 個人情報管理規程の制定について ⑥議案第15号 平成27年度社会福祉事業区分第一次資金収支補正予算について 	有

<p>平成28年 3月24日</p>	<p>①議案第16号 評議員の辞任に伴う評議員の選任について</p> <p>②議案第17号 施設運営会議委員の辞任に伴う施設運営会議委員の指名について</p> <p>③議案第18号 職員給与等支給規程の一部改正について</p> <p>④議案第19号 平成28年度「本部」・「ふじの木園」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業計画(案)について</p> <p>⑤議案第20号 平成28年度社会福祉事業区分資金収支予算(案)について</p>	<p>有</p>
------------------------	--	----------

9. 評議員会開催状況

開催 年月日	議 題	監事 出席
<p>平成27年 5月27日</p>	<p>①議案第1号 理事の辞任に伴う理事の選任について</p> <p>②議案第2号 指定障害者支援施設ふじの木園運営規程の一部改正について</p> <p>③議案第3号 指定短期入所事業所ふじの木園運営規程の一部改正について</p> <p>④議案第4号 ふじの木園(日中一時支援事業)運営規程の一部改正について</p> <p>⑤議案第5号 指定生活介護事業所ときわ作業所運営規程の一部改正について</p> <p>⑥議案第6号 ときわ作業所(日中一時支援事業)運営規程の一部改正について</p> <p>⑦議案第7号 指定特定相談支援事業所ふじの木園運営規程の一部改正について</p> <p>⑧議案第8号 平成26年度「本部」・「ふじの木園」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業報告について</p> <p>⑨議案第9号 平成26年度社会福祉事業区分収支決算について</p>	<p>有</p>

<p>平成27年 11月26日</p>	<p>①議案第10号 職員就業規則の一部改正について</p> <p>②議案第11号 職員給与等支給規程の一部改正について</p> <p>③議案第12号 契約職員雇用規程の一部改正について</p> <p>④議案第13号 パート職員雇用規程の一部改正について</p> <p>⑤議案第14号 個人情報管理規程の制定について</p> <p>⑥議案第15号 平成27年度社会福祉事業区分第一次資金収支補正予算について</p>	<p>有</p>
<p>平成28年 3月24日</p>	<p>①議案第16号 理事の辞任に伴う理事の選任について</p> <p>②議案第17号 職員給与等支給規程の一部改正について</p> <p>③議案第18号 平成28年度「本部」・「ふじの木園」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業計画（案）について</p> <p>④議案第19号 平成28年度社会福祉事業区分資金収支予算（案）について</p>	<p>有</p>

10. 監事の監査状況

監査年月日	監査氏名	監査における指示・指摘事項	備考
<p>平成27年 5月13日</p>	<p>駒田謙二 陸浦歳之</p>	<p>平成26年度において、事業全般に渡り適正に運営され、経理面においても適正に処理されていることを認める</p>	

11. 施設運営会議の開催

委員長：佐々木直(理事)

委員：辻村栄津子(理事)

兼 岩 國 太(評議員)

三ツ口和男 (ときわ作業所施設長)

春日井昌市 (ふじの木園施設長)

事務局：本間浩平 (ふじの木園事務長)

古 田 貴 (ふじの木園主任事務員)

長 谷 川 徹 (ときわホームサービス管理責任者)

開催 年月日	内 容	備 考
平成27年 5月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事、評議員辞任に伴う理事及、評議員の選任について ・ 理事会・評議員会の議案について 	
平成27年 11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふじの木園利用者の退所に伴う新規入所者の選定について ・ 法人創立35周年記念ときわバザーの売上について ・ 法人創立35周年記念式典について ・ 理事会・評議員会の議案について 	
平成28年 1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ときわ会第1期中期計画（案）について ・ 平成28年度事業計画及び予算の骨子について ・ 資格範囲拡大に伴う職員給与等支給規程の一部改正（案）について ・ 指名競争入札に係る指名業者の審査について ・ ふじの木園の女性新規入所者について（選定後の経過報告） ・ 理事及び評議員、監事の辞任について 	
平成28年 3月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふじの木園の男性新規入所者の選定の経過について ・ ふじの木園車椅子対応軽自動車の整備に係る入札の結果について ・ 後援会役員任期満了に伴う役員の選任の経過について ・ ときわ会第1期中期計画（案）について ・ 理事会・評議員会の議案について 	

12. 施設間連絡調整会議の開催

委員長：本間浩平（ふじの木園事務長）

副委員長：古田貴（ふじの木園主任事務員）

委員：長谷川徹（ときわホームサービス管理責任者）

春日井裕美（あゆみ施設長）

大川内誠（ふじの木園主任支援員）

長縄健（ふじの木園主任相談支援専門員）

林宏和（ときわ作業所主任サービス管理責任者）

総括：三ツ口和男（ときわ作業所施設長）

春日井昌市（ふじの木園施設長）

開催年月日	内 容	備 考
平成27年 4月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決算・事業報告の作成スケジュールについて ・ 理事会・評議員会の議案について ・ 後援会総会について ・ 規程等改正について ・ 法人説明会について 	
平成27年 4月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会・評議員会の議案について ・ 規程等改正について ・ 法人説明会について 	
平成27年 6月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の採用状況について ・ 正規職員登用試験について ・ 第三者評価の受審について ・ 平成27年度の会議・部会について 	
平成27年 7月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の採用状況について ・ 社会福祉士及び介護福祉士の実習指導者の養成について ・ 法人創立35周年記念行事実行委員会より 	
平成27年 8月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の採用状況について ・ 夜勤及び宿直者の健康診断について ・ 常勤職員インフルエンザ予防接種について ・ 法人創立35周年記念行事実行委員会より 	
平成27年 9月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会・評議員会の議案について ・ マイナンバー制度について ・ 正規登用試験説明会について ・ 夜勤者健康診断について ・ 常勤職員インフルエンザ予防接種について ・ 法人創立35周年記念行事実行委員会より 	
平成27年 11月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画・予算作成のスケジュールについて ・ 理事会・評議員会の議案について ・ 法人創立35周年記念行事実行委員会より ・ 常勤職員健康診断について ・ 法人事業推進部会より 	
平成27年 12月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画及び予算骨子について ・ 契約・パート職員の来年度契約更新等について ・ 法人創立35周年記念行事実行委員会より ・ 常勤職員健康診断について ・ 法人事業推進部会より 	
平成28年 1月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画及び予算骨子について ・ 契約・パート職員の来年度契約更新等について ・ 法人創立35周年記念行事実行委員会より 	

平成28年 2月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会・評議員会の議案について ・事業計画及び予算について ・法人創立35周年記念行事実行委員会より 	
平成28年 3月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会・評議員会の議案について ・事業計画及び予算について ・平成28年度各種部会・会議について ・職員の求人状況及び今後の取り組みについて 	

13. 法人本部事務局の設置に向けた研究及び準備について

社会福祉法等の一部改正の重点項目である「社会福祉法人の制度改革」と「福祉人材の確保の促進」等の内容調査を外部研修等に参加して行ない、社会福祉法人に求められる「経営組織のガバナンス強化」や「事業運営の透明性の向上」、「財務規律の強化」、「地域における公益的な取り組み」等に当該法人として適切に対応し、福祉サービスの供給体制の整備や充実を図るために、法人本部事務局としての役割や設置後の継続的な運営と機能強化について検証した。

14. 職員体制及び求人方法の見直しについて

職員体制は利用者支援の低下を防ぐことを第一に考え、ふじの木園では支援員の休日であった祝日を労働日へ切り替えを行った。また、ときわ作業所とときわホームでは夜間の勤務体制の充実に向けた調整や、あゆみでは利用者の障害の重度化等に伴う正規職員の増員について見直した。

求人方法についてはホームページや有料求人サイト等を活用した募集と求人フェア等への参加や新卒者を中心とした法人説明会を行なった結果、2名の新規職員の採用をすることができた。

また、看護職員の求人難が続いているため、対象職種を拡大し准看護師も採用対象となるよう規定を改正した。

15. 職員の処遇改善について

職務分掌とキャリアパスフォームの見直しを行ない、特定相談支援事業所の職員の職種や新たな役職についての内容を整備した。

また、年金受給年齢の60歳から65歳への引き上げ等、社会情勢が変化しているため、キャリアパス形成と役職の位置づけ、60歳以上の職員の処遇について検証した。

[主な会議等] 職員処遇改善部会 年3回開催

16. 社会福祉法人ときわ会第1期中期計画の策定について

法人創立35周年を節目と捉え、課題であった中期計画を平成28年度から平成30年度までの3年間の第1期として策定した。

策定にあたっては法人の基本理念である「明るく 楽しく のびのびと」の次に運営方針として「利用者の幸せが最優先」を改めて定めた。

また、運営方針を具体化するために、本部と各施設、事業所の諸課題を整理し、平成28年度からの3年間に取り組む内容を策定した。

[主な会議等] 法人事業推進部会 年4回開催

17. 将来的な入所系施設（障害者支援施設・グループホーム等）整備の研究について
法人事業推進部会を中心に策定した「ときわ会第1期中期計画」の中で、入所系施設の整備の研究を本部の課題として位置づけ、平成28年度から平成30年度までの3年間に行う調査研究の内容とスケジュールについて整備した。

18. ふじの木園・ときわ作業所の第三者評価の受審について

サービスの質の向上に結びつけるため第三者評価を受審した。客観的な立場から「特に評価の高い点」や、「改善を求められる点の評価」等の評価を受けることで、事業運営における問題点を把握することができた。

また、評価結果をインターネット上で公表することで、利用者の適切なサービス選択に資するための情報とすることができた。

〔第三者評価機関〕 株式会社 中部評価センター（名古屋市緑区）

〔実施施設・事業所〕 ときわ作業所 訪問調査 平成27年12月11日実施

ふじの木園 訪問調査 平成28年 1月15日実施

〔評価結果公表先（推進センターホームページ）〕

<http://www.aichi-fukushi.or.jp/daisansha-hyoka/>

受審業者の一覧（評価結果）→平成27年度

19. 法人創立35周年記念事業の実施について

法人創立35周年を記念して関係者や地域の方々へのお礼と、法人の更なる発展に向け、各行事に職員による実行委員会を設け、記念式典の開催や記念パンフレットの発行を行った。

法人の創立35周年を記念して行った事業

1 法人創立35周年記念ときわバザー

日時 平成27年11月1日（日）

場所 ときわ作業所、ときわホーム、ふじの木園

内容 模擬店、施設製品販売、抽選会、人形劇、ビンゴゲーム大会等

〔主な会議等〕 ときわバザー実行委員会 年3回開催

2 法人創立35周年記念式典

日時 平成27年12月2日（水）

場所 すいとびあ江南 多目的ホール

内容 式典、祝賀会、DVD上映、利用者コンサート、ピアノ演奏等

〔主な会議等〕 記念式典実行委員会 年3回開催

3 法人創立35周年記念誌

発行 平成27年12月

内容 法人及び各施設、事業所の創立30周年から35周年の歩み等

〔主な会議等〕 記念誌実行委員会 年4回開催

4 法人創立35周年記念利用者交流会

日時 平成28年1月14日（木）

場所 すいとびあ江南

内容 ときわ作業所、ふじの木園、あゆみ、小規模利用者の交流、会食、DVD上映、消防音楽隊演奏等

〔主な会議等〕 交流会実行委員会 年6回開催

◇特に評価の高い点

◆機能する会議体

法人、事業所の意思決定や指示・命令系統、報告・伝達の仕組みが構築されており、それぞれの会議体が有効に機能している。法人の意思決定を「理事会」・「評議員会」が担い、一部の理事と施設長による「運営会議」があり、その下に施設長による「連絡調整会議」がある。その下に、主任クラスが参加する「事業推進部会」が組織されており、経営課題の抽出や改善策の検討をしている。明らかになった経営課題は、各事業所で事業計画に盛り込んで取り組んでいる。

◆積極的な情報提供

福祉サービスの選択に必要な事業所情報をホームページやパンフレット・機関誌等で積極的に提供し、市役所、社会福祉協議会、特別支援学校等の公共機関に事業所のパンフレットを置いている。日中一時利用のための説明会を開催したり、さらに特別支援学校でも説明会を開催する等、利用希望者の要望に十分に応えている。小学校や中学校からの要請（障害者理解のための教育の一環として）があれば、職員と利用者が「出前講座」の講師役となって学校を訪問している。

◆デジタルとアナログの特徴を活かした記録の作成・管理

パソコンにより福祉サービスの実施状況の記録を作成しており、ネットワークシステムを利用することによって事業所内で情報共有する仕組みを構築している。アセスメント表や個別支援計画書を始めとして、日々のサービス実施記録がケースファイルに整理して保管してあり、大変見やすいものとなっている。記録する職員によって差異が生じないように、職員会議等を使ってレベル合わせも行っている。記録作成上の必須要件である「読みやすく」、「容易に識別が可能で」、「後日に追跡・検索が可能」を十分に満たしている。

◇改善を求められる点

◆利用者満足度の調査・把握

「サービスの質の向上」は、「利用者満足度の向上」とも置き換えられる。それ故、サービスの質の向上を問うときには、利用者の満足度の把握が必須となる。利用者や保護者に対してのアンケート調査や個別面接を定期的に行うとともに、利用者会や家族会への職員の参加を通して、利用者満足度の度合いを把握することが望まれる。レクリエーション活動のアンケート調査や、年1回の嗜好調査が実を挙げていることからしても、事業全体をとらえた利用者満足度の調査・把握が望まれる。

◆利用者満足度の調査・把握

提供するサービスの全体を網羅した標準的な支援のマニュアルがなく、個別支援計画書において利用者個々の支援の手順を明確にしている。「ときわバザー」をはじめとする事業所イベントや行事が慣習的に運営されている。前回の反省に立って次回の改善につなげているが、各種行事に対応するマニュアルは作成されていない。その時に活躍してくれる大勢の協力的なボランティアの受入れに関するマニュアルも然りである。マニュアルの作成に際しては、冒頭に意義や目的（何のために）を明確に記述することを勧めたい。

◇特に評価の高い点

◆権利擁護の取り組み

運営規程や重要事項説明書及び契約書において利用者のプライバシー保護や虐待防止等の権利擁護について規定しており、虐待防止研修等を通して職員の理解を図り、具体的な取り組みに結びつけている。具体的な取り組みの実例として、2人部屋の中央に仕切りやカーテンを設置したり、全居室の扉に鍵を設置したりしている。目に見えるハード部分の改善が、職員の意識を変える大きな契機となる。

◆主体性、自主性の尊重

利用者の作業能力に応じて4班に分けて行っている生産活動では、利用者の主体性や自主性を尊重して行われており、利用者の生きがいにつながる活動として定着している。創作的活動では外部講師を利用した音楽療法、軽運動、機能訓練が行われており、利用者の高齢化・重度化対策として有効なものとなっており、特徴的な活動となっている。利用者の希望や適性に応じて実施しているクラブ活動では、「みるクラブ」、「つくるクラブ」、「えらべるクラブ」に分けて活動しており、絵本や紙芝居の読み聞かせ、書道、カレンダーづくり、フラワーアレンジメント、フライングディスク、ボッチャ、公園散策等多種類の内容の活動が用意されている。

◆利用者満足の把握

利用者が日常生活で困っていることや不満に思っていること、悩みごと等を気軽に相談できる機会として「生活相談」の時間を設けており、個別の支援として充実したものになっている。その他にも利用者満足の向上を図るため、食事に関する嗜好調査を実施したり、外出計画を立てる際の希望の調査を行っている。「生活相談」は傾聴する姿勢を基本とした取り組みで、利用者の悩みを知り理解を深めるための取り組みとして定着している。

◇改善を求められる点

◆重点課題には数値の目標を

中・長期計画、事業計画共に周知はされてはいるものの互いに繋がり薄い。中・長期計画策定に際しては、事業所の課題を把握して重点課題（中・長期に亘る）を整理し、目標は最終到達目標のみではなく中間の目標（節目毎）を立てる事を望みたい。その目標に関しては、達成度が判定可能となるよう、可能な限り数値目標を設定することが望まれる。さらに、事業計画は前年度の振り返りと、中・長期の節目毎の目標と関連図けて策定される事を期待したい。

◆マニュアルの見直し及び、現場支援との適合度の検証

提供するサービスの標準的な実施方法については「職員支援マニュアル」として文書化し周知を図っているが、マニュアル通りに現場でのサービスが提供されているのかを検証することを望みたい。さらに、マニュアルの見直しを図ることが望まれる。マニュアル見直しの機会は、「（法令、規程等の）上位文書が改訂された時」、「事故や不測の事態が起きた時」、「（1年程度の）定期的な見直し」が考えられる。見直しのルール化を期待したい。

平成27年度 ふじの木園 事業報告書

1 ふじの木園の運営

設置・経営主体 社会福祉法人 ときわ会

事業種別 (1)指定障害者支援施設
[障害者支援施設(施設入所支援・生活介護事業)]

(2)指定特定相談支援事業所
[特定相談支援事業]

施設名 ふじの木園

所在地 江南市河野町五十間88番地

事業内容と定員 (1)障害者支援施設

①施設入所支援 50名 (現員49名)

②生活介護 50名 (現員49名 施設入所支援利用者と同者)

③短期入所 5名 (随時)

④日中一時支援 5名 (随時)

(2)特定相談支援事業

特定相談支援 随時

対象者 障害支援区分4以上(50歳以上は区分3以上)である者

職員等 [職員]・職員21名・準職員2名・パート職員6名 計29名

[他]・嘱託医(内科)1名

・講師(音楽療法・軽運動・機能訓練)4名 計5名

職員

(人)

	施設長	サービス管理責任者 兼事務長	事務員		支援員		
			主任事務員	事務員	主任支援員	副主任支援員	支援員
男	1	1	1	0	1	1	6
女	0	0	0	0		1	8 (6)
合計	1	1	1	0	17 (6)		

	相談支援 専門員	看護師		栄養士	合計
		主任 看護師	看護師	主任栄養士	
男	1	0	0	0	12
女	※1	1	0	1	11 (6)
合計	2 (内1名兼務)	1	0	1	23 (6)

()内はパート職員数、別掲 ※は副主任支援員兼務

2 事業総括

(1) 施設入所支援・生活介護

施設入所支援は、夜間及び休日において、主に入浴、排せつ及び食事等の生活支援を行ってきた。

生活介護は、平日の日中において、施設入所支援同様の生活支援に加え、3つの活動班と1つの高齢化、重度化に対応したグループからなる生産活動、音楽療法等の療育活動及びクラブ活動等の創作的活動に取り組んだ。

施設の課題である利用者の高齢化、障害の重度化、身体機能維持の目的に対応していくため、施設で行う理学療法士による機能訓練や整形外科病院での通院によるリハビリテーション受診などの充実や、環境整備のための居室や浴室への手すりの設置、車椅子やリフト浴の積極的な使用、そしてゆとりのある活動を目的とした高齢者中心の班活動を実施した。

また、高齢や身体機能等の衰えから定期的な入浴リフトの使用の対象者が増えると共に高齢者でふじの木園での生活が困難となった利用者2名に介護保険施設への移行に向けた支援を行った。結果、女性利用者1名は10月の下旬に、そして男性利用者1名は1月下旬に退所し、それぞれが特別養護老人ホームへ移り、支援から介護へと新たな生活を始めることとなった。2名退所後の新規利用者の受け入れは3月に女性の受け入れを行ない、4月に男性を受け入れることとなった。

職員体制は前年度に続き施設が標榜する支援員数に達していない状況であり、取り組みの中には計画していた内容や予定の回数ができないものもあったが、保護者の協力や職種間の連携により、事故や怪我、疾病や感染等を最小限に留めるなど、安全な支援と利用者の健康を維持することができた。

利用料収入は、年度途中で退所者が2名生じたことによる減収のため、額で昨年度より1,083,488円、率では0.05%の減収であった。

(2) 短期入所・日中一時支援

短期入所は、家庭の事情による急な受け入れや、江南市基幹相談支援センターや他の相談支援事業者との連携による受け入れにより、円滑なサービスを提供することができた。

日中一時支援は、休日や平日の他の通所系事業所での活動後からの一時的受け入れ等により、必要なサービスを提供することができた。

短期入所及び日中一時支援の利用率は増加し、合わせた額で昨年度より971,054円、率では18.3%の増収であった。

(3) 特定相談支援事業

昨年度からの法人内の障害福祉サービス利用者のサービス等利用計画作成に加え、他の相談支援事業所を利用していた方の引継ぎや、ときわ作業所、ふじの木園の新規入所者の計画作成を行ってきたため、契約者数、サービス等利用計画の作成件数の増に繋げることができた。

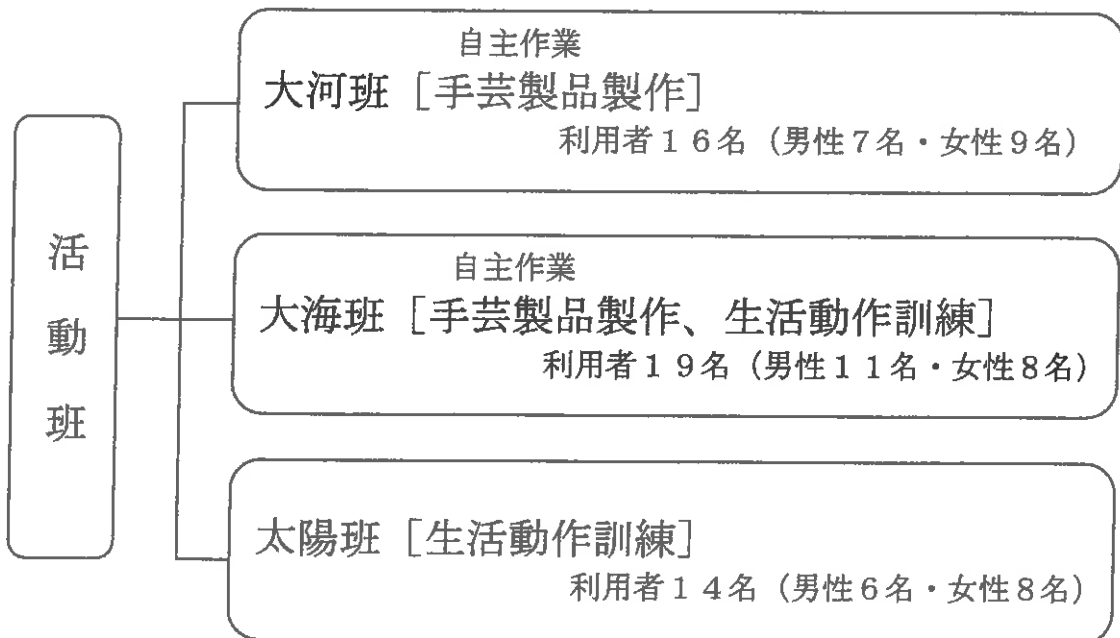
江南市基幹相談支援センターや関係事業所等とのカンファレンス、サービス担当者会議やモニタリングを行い、利用者や家族等のニーズや生活環境の変化に合わせたサービス等利用計画の立案に努め、適切な障害福祉サービスの利用に結び付け、利用者の安心安全な生活に繋げることができた。

今年度は115名の契約者で、サービス等利用計画の立案やモニタリングの件数が増加し、昨年度より504,384円、率では19.2%の増収であった。

事業内容

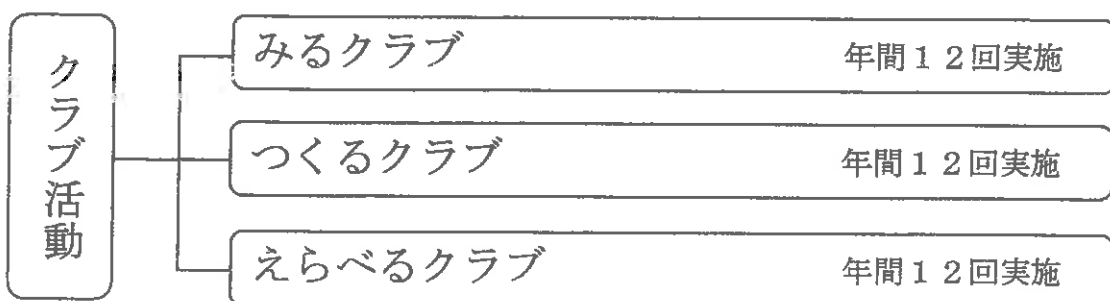
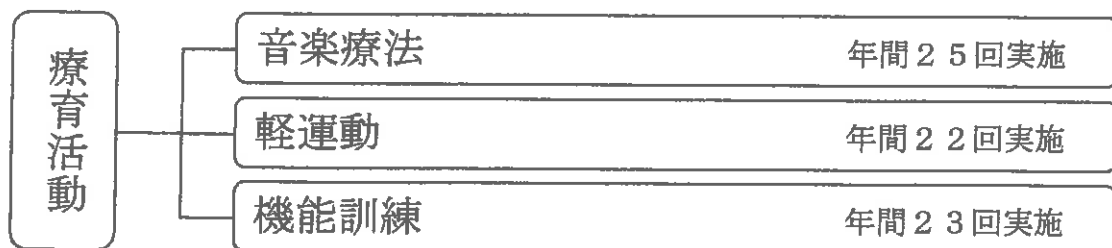
1 生産活動

利用者の作業能力に応じた様々な生産活動を通して、身体機能や生活能力の向上を図る。



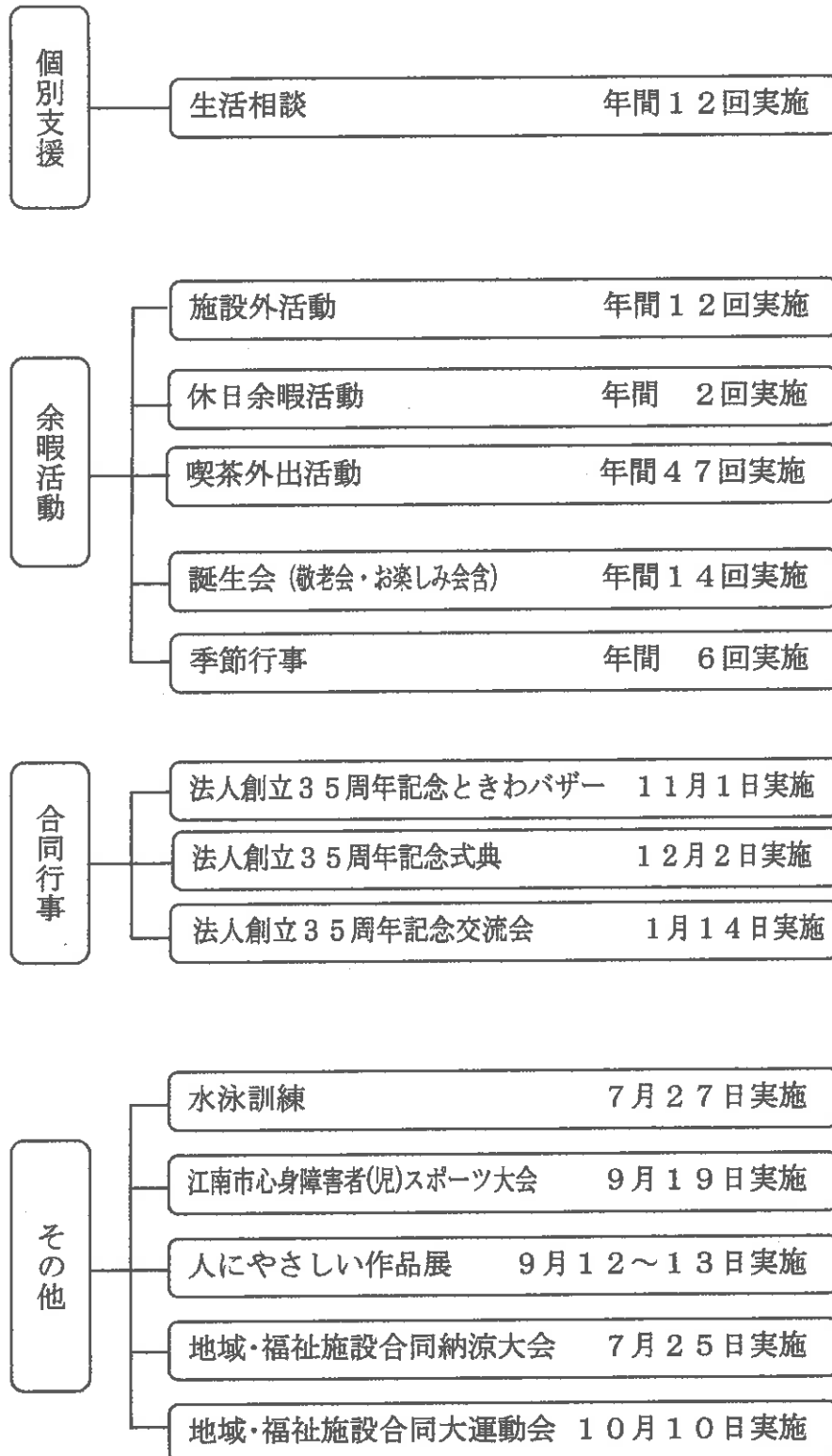
2 創作的活動

音楽やスポーツ、書道や調理等の創作的活動を通して、興味や趣味を持ち、施設生活の向上を図る。



3 その他の活動

利用者の環境、年齢及び心身の状況に応じた個別支援や余暇活動等を行い、施設生活の充実と地域への積極的な参加を図る。



4 医務

嘱託医師が変わったため、利用者個々の障害や疾病と現況の把握等を目的に内科回診や健康診断、予防接種等を通して嘱託医師へ全利用者の報告・説明に務めた。

また嘱託医と院外薬局の連携により、薬剤についての相談はもとより個別分包、薬包表示の統一、一括配達の依頼による業務の効率化と誤薬の軽減を図ることができた。

高齢化や身体や疾病の症状の重症化により増加している転倒による外傷や骨折に対しては、各個人の症状に応じた保護装具の作成や生活環境の見直しを行い安全に過ごせることを第一に支援し、事故等を最小限に留めることに務めた。

健康面は健康診断結果により必要な医療受診を進めることができるように配慮した。また、歯科健診結果から保護者の依頼を受けた利用者の歯科受診を行い、治療や定期的な検診等のフォローにつなげた。

身体機能のリハビリは通院と機能訓練を併用することによって身体能力の維持、悪化防止に努めた。

生活面では健康的な活動の意識が高まり、運動、散歩、日光浴等を日中の活動に取り入れる工夫をした。

[回診・その他の取り組み]

・内科回診	12回 藤原誠治医師（藤原医院院長）
・歯科健診	6月25日 尾北歯科医師会
・利用者・パート職員健康診断	8月28日 名古屋公衆医学研究所
・支援員（夜勤者）健康診断	10月13日 藤原医師
・手洗い講習	10月19日 魚国総本社
・インフルエンザ予防接種	[3回に分けて実施]
	11月10、17、24日 藤原医師
・利用者健康診断	2月9日 藤原医師
・常勤職員健康診断	2～3月 江南厚生病院
・職員救急講習会	3月15日 江南消防署

5 給食

利用者の年齢や障害等の身体状況や健康状態、疾病等に応じて食材の形態や大きさを工夫し、利用者の食べやすい状態で食事を提供することができ、残食も減少した。

月1回の給食連絡会議やその都度の調整で委託業者との連携を図ることで、施設の栄養士の意向を伝えることができ、食べやすく、きれいな盛り付けにより提供することができた。

嗜好調査内容を見直し、利用者個別対応の統一化ができた。

[主な取り組み]

・行事食	その都度（1月年明けうどん、2月恵方巻き等）
・セレクトメニュー	毎月1回（チキンカツ又はサーモンフライの選択）
・誕生者リクエストメニュー	誕生日（誕生者が希望した一品）
・料理長のいちおしメニュー	毎月1回（ドライカレー・あさりうどん等）

[給食委託業者]
・魚国総本社

6 地域移行への支援

施設の入所者であっても、施設生活から地域生活への移行を目標に長期的な取り組みとして、「外出して～をしたい」、「～へ外出に行きたい」等の日頃の利用者からの希望を勘案した喫茶活動や施設外活動等により地域社会との関わりや地域資源の活用、そして体力、健康維持を目標とした支援を行なうことができた。

7 ときわホームへのバックアップ

主に夜間や休日における医療や災害等でときわホームの利用者に緊急の対応が必要となった際の協力施設としての役割に備えた。
平成27年度 緊急対応 0件。

8 その他

(1) 支援員の勤務体制の見直しについて

利用者の高齢化・障害の重度化に対する支援を維持、強化するため、直接利用者をお世話する支援員の休日であった祝日を労働日に切り替える勤務体制を導入したことで、高齢者・重度者に特化した活動グループ(大樹グループ)の活動日が増えたことや選択形式のクラブ活動の充実を図ることができた。

(2) 利用者の年金等、金銭管理の研究

障害者支援施設における金銭管理の方法について、関連資料による全国的な動向や、近隣施設における管理方法を調査した結果、管理費月額や入出金の方法、成年後見人による管理状況等を把握することができ、ふじの木園で年金等の管理をするために必要な規程等の整備内容や職員体制について研究を進めることができた。

(3) 非常災害対策計画の見直しについて

災害時における組織体制、緊急連絡網、災害予防対策、避難計画等、計画内容についての見直しを行った。

(4) 第三者評価の実施について

本部事業報告参照。

生産活動報告

1. 大河班

[手芸製品製作] 自主作業

クッション、エコバッグ等製品製作において分担された作業内容を各利用者がしっかりと行えた。クッションカバーは製品化することができなかったが、くるみボタン、くるみピンは地域のバザーで販売することができた。また、マフラーはときわバザーの開催時期が変更になったこともあり作製を行わなかった。製品作製以外には適宜散歩を行い、気分転換を図ることができた。

- ・ 廃止した製品
マフラー
- ・ 新製品
なし

2. 大海班

[手芸製品製作] 自主作業

[生活動作訓練]

手作りビーズマスコットの販売に向けて作業工程を分担し、製作することができた。現在、工程に入ることができる利用者が少ない為、大量に製作することは難しいが、各バザーで計70個程度製品として販売した。特に子どもの来場者が多い「子どもフェスティバルバザー」「ふれあいまつり」での売れ行きが良かった。

肩たたき棒は在庫の調整を図りながら、随時製作を行った。

また、園内の草むしりや落ち葉拾いといった清掃活動を行ったり、散歩や生活動作訓練(機能訓練での個別ADLの指導内容)を実践し、体や指先を動かす機会を作ることができた。

3. 太陽班

[生活動作訓練]

午前中はペグボードやパズル、ビーズ通し等、生活動作訓練を主に行った。午後からは口腔ケアを行い、階段の昇降や園内散歩、天候の良い日は中庭で、日光浴やボール運動等、太陽の光を浴びて運動することに取り組み、健康維持につなげることができた。

また、利用者を曜日毎に振り分け、特化日を設け、少人数の利用者に職員が付き添い、個別支援計画に基づき、集中して活動に取り組めるよう支援した。

新たに音が出る絵本やぬいぐるみ付きの絵本、電車をモチーフとしたペグを購入し、楽しみながら関心を持って取り組めるよう支援した。

4. 大樹グループ

[生活動作訓練]

今年度より高齢グループの名称を大樹グループに変更して活動を行った。通院対応等により職員が配置できず活動ができない日もあったが、職員配置の見直しにより月に2～8回(月平均4回)の活動を行うことができ、昨年度に比べ活動回数を増やすことができた。

活動場所は生活訓練室を利用し、少人数で活動に集中できるよう落ち着いた環境を整えた。活動内容としては利用者各自が関心のある内容(ぬりえ、立体パズル、絵本読み、大正琴等)を行い、職員が補助をすることで楽しみながら集中して取り組むことができた。また、昨年度同様にフットバスを使用した足浴を行い、健康面にも留意した内容を取り入れた。

ただし、活動を予定していた数独パズルについては、活動内容に適した物が見つけられなかったことから取り組みを見合わせ中止とした。

創作的活動報告

1. 療育活動

①音楽療法

今年度は、「よろしくね会」「法人創立35周年記念式典」「法人創立35周年記念交流会」でドキドキコンサートとして発表する場が3回あり、式典と交流会に関しては、ときわ作業所との合同発表だった為、練習や発表を通して交流もあり例年にはない緊張感も味わうことができた。

月2回の通常活動では、季節や懐かしさを感じながら歌い、リズムや歌詞に合わせた振り付けで体を動かすといった活動で、積極的に楽しみながら参加することができた。

年間25回実施

[行事での発表曲]

4月 これからもよろしくね会

「ベストフレンド」合唱、ハンドベル・トーンチャイム

「野に咲く花のように」合唱、手話

12月 法人創立35周年記念式典

「ふるさと」トーンチャイム

「空も飛べるはず」合唱

1月 法人創立35周年記念交流会交流会

「ふるさと」トーンチャイム

「空も飛べるはず」合唱

②軽運動

スポーツインストラクターである講師の指導のもと、レクリエーション要素は、大きなピン(空気を入れるタイプ)を使用したボーリング、中庭でフライングディスクやドッチビー、的あてふくろう、輪投げ、サッカーゴールを使用したボールの的入れに取り組んだ。毎月レクリエーション内容を変えていき、ボールを転がす、投げる等、ルールが簡単なものを中心に取り組んだことで、どの利用者も楽しみながら取り組むことができた。

その結果、県のボッチャ大会や、江南社協と連携した地域の学生との交流にも自信を持って参加することができた。2月には施設内で全員が行うボッチャ大会で盛り上がることができた。

年間22回実施

[大会結果]

第16回愛知県ボッチャ競技大会

ふじの木A・Bの2チーム参加(6名)銀メダル2

[知的障害者理解促進軽スポーツ教室]

古知野中学校、北部中学校

③機能訓練

講師である理学療法士の指導のもと、グループでの運動療法では発語訓練や棒体操や今年度から『セラバンド』を使用した運動プログラムが増えたことで、更に興味を持って取り組まれる姿が見られた。月2回の活動内容に慣れ、訓練を楽しみながらも、集中して取り組める者が多くなった。

参加者一人一人のADL(生活動作)に対する個別の運動指導では、歩行や肩・膝痛改善等、個別の課題に対して、日頃から行うことのできる運動やストレッチ等を教わることができ、日常生活の中で実践したことで、関節可動域が改善し、筋力向上が数値として現れる利用者もおり、歩行の安定等につながった。

年間23回実施

[主なグループ運動療法]

- ・摂食・嚥下機能訓練(首や口の動き・発声練習)
- ・準備運動(上下肢・肩関節・股関節の運動等)
- ・筋力トレーニング(棒を使った運動、セラバンドを使用した運動等)

[主な個別ADL指導]

- ・体重減少目的とした体幹の回旋、段差昇降
- ・体幹安定性向上を目的とした足踏み及び歩行運動
- ・肩関節可動域の維持向上を目的とする、上肢交互運動器を使用した運動

2. クラブ活動

①みるクラブ

本年度からDVD鑑賞や読み聞かせ等の「みるクラブ」として行った。

4月は絵本「桃太郎」の読み聞かせを行った。利用者も進行に参加し、楽しんで行うことができた。5月以降はプロジェクターを使用し、交流スペースで映画鑑賞を行った。利用者に事前に見たい映画のリクエストを聞き、それを取り入れる形とした。アニメを希望されることが多く、「ドラえもん」や「クレヨンしんちゃん」等を中心に鑑賞した。映画鑑賞後は、その映画に合わせた塗り絵を行い、各々が好きなように塗り絵を楽しんだ。

②つくるクラブ

毎月のカレンダー製作を中心に、利用者各自の行いたい活動（習字、色塗り等）に取り組んだ。1F掲示板に貼り出す作品については、季節に合った対象を塗り絵や折り紙で表現することができた。また、10月には木の実や落ち葉を使った作品を作る等、自然の物を取り入れた作品作りを行った。9月の作品展に向けて年度初めから意欲的に取り組む利用者もいた。

③えらべるクラブ

本年度は利用者が選択した活動内容を月替わりで取り組む形式のクラブ活動“えらべるクラブ”を取り入れた。活動内容は以下の通り。

実施月	活動内容	実施月	活動内容
4、5	フライングディスク大会の練習 中庭運動	12	ボッチャ大会の練習
6、7	手芸	1、2	パーラービーズ
8、9	ウッドバーニング	3	カラオケ
10、11	フラワーアレンジメント		

4、5月は5月に行われる県障害者スポーツ大会(フライングディスク大会)に向けての練習、12月は同月に行われる県障害者ボッチャ競技大会(ボッチャ大会)に向けての練習も兼ねた活動内容とし、また、3月は多くの利用者が好まれるカラオケを活動内容に取り入れた。

特にフラワーアレンジメントは意欲的に取り組まれる利用者の姿が見られた。帰省時に作品を持ち帰ったが、保護者の方からも大変好評であった。

また、ご自身で活動内容を選択することが困難と思われる利用者については、気候の良い時期に公園散策を行い、戸外を散策することで気分転換を図り、季節を感じていただく機会とした。

その他の活動報告

1. 個別支援

生活相談

困っていることや聞いて欲しいことを、相談に来た利用者の表情と言葉で理解することができ、職員の共通認識として支援に生かすことができた。また、利用者自身もゆっくり話を聞いてもらうことで安心感を得ることができ、その後の安定した生活につなげることができた。

相談内容は日常的な支援の中で把握している内容が多く、希望者も偏りが見られたが、利用者にとって個別に会話をすることで安心感を得られる機会となった。

年間12回実施 (利用7人)

- [主な相談内容]
- ・友達との関わりについて
 - ・希望する取り組み(作業、余暇活動)について等

2. 余暇活動

①施設外活動

利用者主体の計画となるよう話し合いの中から行程を計画し、ショッピングモールでの買い物や、飲食店での食事(会食)、イベントの見学等を楽しみながら体験することができた。感染症対策のため、11月～3月は混雑する総合施設等の場所を避け、カラオケや散歩を中心に行うことにより、人混みからの感染を予防した。

年間 12回実施

[主な行き先]

138タワーパーク、日本昭和村、リニア鉄道館、リトルワールド等

②休日余暇活動

参加利用者の希望に応じて、買い物を行ない、充実した休日を過ごすことができた。また、近隣の高齢者施設のイベントの見学を行ない、他施設の方々との交流を深めることもできた。

年間2回実施

[主な行き先]

サンライフ地域感謝祭見学、アピタ江南西店で買い物等

③喫茶外出活動

毎週木曜日の午後に少人数のグループで利用者の希望する喫茶店や、ショッピングモールへ行き憩いのひと時を楽しんだ。感染症対策の為、11月～3月の期間は複合施設等の人混みを避けた活動で感染を予防した。

年間47回実施

[主な行き先]

コメダ珈琲江南村久野店、古今堂江南店、アピタ江南西店等

④誕生会

今年度から季節行事のない月は月例会と誕生日会を同日に行い、季節行事のある月は、季節行事と誕生日会を同日に行った。また、年間2回のお楽しみ会を別日に実施したことで、利用者全体でレクリエーションを楽しむことができた。

またプレゼントはTシャツとお菓子の詰め合わせの2種類から好きな方を利用者を選んでもらい、各利用者は好きな物をもらうことができた。

誕生会

年間12回実施（内9月は敬老会）

お楽しみ会

年間2回実施（6月：のど自慢大会田楽会、11月：つくってあそぼう（クリスマス））

⑤季節行事

・これからもよろしくね会（平成27年4月17日）

高齢や障害の重度化が進んだ利用者が増えてきたことや、保護者の高齢化で家族の付き添いも難しくなっているため、日帰り旅行を廃止し、同じく保護者参加行事である「これからもよろしくね会」と統合した形の行事とした。

施設内で通常の保護者会を行った後、バス2台にて名鉄犬山ホテルへ移動し、「これからもよろしくね会」を開催した。食事会や新規入所利用者、新規職員の挨拶を行ったり、音楽療法の発表を園とは異なる雰囲気の中で保護者の前で発表し、利用者、保護者職員が一堂に会し、楽しいひと時を過ごすことができた。

・七夕祭り（平成27年7月7日）

利用者各自が短冊に願い事を書き発表することで、日頃から関心のあることや自身の希望することを表現する機会となった。発表後は織姫、彦星の顔だしパネルで写真の撮影を行い、楽しむことができた。

写真と短冊は後日1F掲示板に掲示して、来園者に見てもらうことができた。

- ・クリスマス会(平成27年12月25日)

クリスマスツリーを事前に出し、飾り付けも利用者が行い、雰囲気や季節感を出しクリスマス会までの間も楽しみに過ごすことができた。またクリスマスプレゼントも楽しみの1つで欲しい物を考え、希望の物をもらうことができ、各利用者のうれしい表情が見られた。

クリスマス会では食堂の真ん中にツリーを飾り、食堂内も飾りクリスマスの雰囲気を出した。どの利用者も楽しむことができた。

- ・書初め大会(平成28年1月5日)

当日は、見本を見て書いたり、自分の書きたい言葉を選び楽しく行うことができた。また翌日の誕生日会で書初めの発表会を行い、書いた字の思いを全体に伝えることができ、その後、掲示したことで、家族や来園者にも見てもらうことができた。

- ・節分祭(平成28年2月3日)

新聞紙を丸めて作った豆で利用者が豆まきを行った。「鬼のパンツ」の曲を使用することによって、より楽しい雰囲気で行うことができた。楽しみながら季節を感じることもできた。

- ・ひな祭り(平成28年3月1日)

利用者自身で折り紙でひな人形を折り、飾ることで楽しむことができた。「うれしい、ひなまつり」を皆で歌い、ひな祭りを祝うことができた。

3. 合同行事

①法人創立35周年記念ときわバザー(平成27年11月1日)

法人創立35周年の節目と捉え、例年のイベントに加え抽選会も行い、にぎやかにバザーを開催することができた。合同行事や各施設を紹介するポップをときわ会場で掲示したり、開催時期を早め感染症対策にも力を入れたことで、地域の方にもたくさん参加して頂け、交流を深めると共に、ときわ会を知ってもらえる良い機会となった。

開催場所 ときわ作業所、ふじの木園(授乳室設置)、ときわホーム「ニコット」、畑

②法人創立35周年記念交流会(平成28年1月14日)

式典は法人創立35周年記念式、新成人を迎えたときわ作業所の2名の利用者を皆で祝福した成人の集いが行われた。祝賀会では、他事業所と合同でハンドベルの演奏を行ったり、食事を通して交流を深めることができた。

また、皆が楽しみにしている江南消防音楽隊の演奏もあり楽しい時間を過ごすことができた。

開催場所 すいとぴあ江南

4. その他

①水泳訓練(平成27年7月27日)

本年度はインストラクターが不在であった為、法人の支援職員が水に慣れること、水中歩行、クロールで泳ぐ等を順に指導して行った。また、訓練中にてんかん発作が起こった場合を想定して、その対応についてあらかじめ検討して資料を作成し、計画書に添付し、参加職員の周知を行ってから臨んだ。ときわ作業所と連携し到着後の着替えから終了まで怪我なく、円滑に行なうことができ、参加した利用者も暑い夏を楽しむことができた。

開催場所 木賀コミュニティープール

②心身障害者(児)スポーツ大会(平成27年9月19日)

競技は玉入れ等の施設単位のものや個人で楽しめるパン喰い競争等が行われ、参加者は適度に身体を動かしながら楽しんだ。事前に参加競技を決めて行ったが、当日この競技に参加したいと要望があったため、臨機応変に職員を増やすなどの対応をとることで、大きなトラブルや怪我等もなく終えることができた。

今年度から鳴子踊りが行われたが、利用者の方も一緒に踊るなど楽しく参加することができた。

開催場所 江南市民体育会館

③人にやさしい作品展(平成27年9月12日～13日)

全体のテーマを「光」として取り組んだ。(太陽班、大河班、大海班)とそれぞれの班に分かれ、軽運動で使用する輪投げ台の装飾や、ちぎり絵、水彩画を作成して出展した。作品作製中は楽しんで取り組むことができた。

個人作品では男性3名、女性10名と多くの利用者が出展した。

開催場所 江南市民文化会館

④地域・福祉施設合同納涼大会(平成27年7月25日)

事前に踊りの先生による練習があり、当日までの楽しみとなった。

利用者の高齢化、重度化により在園者が増えているが、今年度は在園職員を数名設け、少しの時間であっても、納涼大会に参加し、盆踊りや模擬店を楽しみ、夏を感じることができた。

開催場所 ジョイフルむつみグラウンド

⑤地域福祉施設合同大運動会(平成27年10月10日)

天候も良く、玉転がしやパン食い競争等の競技を家族と共に皆で楽しむことができた。利用者の体力と体調面への配慮から、昼食を施設に帰って食べるように変更した。建物内で安全に食事を行ない、落ち着いて休憩をとることができた。

開催場所 ジョイフルむつみグラウンド

平成27年度 ふじの木園行事等報告

月 日	行 事 等	月 日	他団体協力バザー
4. 17	これからもよろしくね会 (名鉄犬山ホテル)	4. 23 ～5. 6	藤まつり (偶数日参加)
5. 23	県障害者スポーツ大会 (豊田市運動公園)	5. 24	こどもフェスティバル
6. 25	歯科健診		
7. 7	七夕まつり		
7. 25	地域・福祉施設合同納涼大会		
7. 27	水泳訓練(木賀プール)		
7. 28	あゆみエンジョイサマー		
8. 28	健康診断(移動検診車)		
9. 12 ～ 13	人にやさしい作品展 (江南市民文化会館)	9. 12 ～ 13	人にやさしい作品展
9. 19	心身障害者(児)スポーツ大会 (江南市民体育会館)	9. 29 ～ 30	古知野高校文化祭
10. 10	地域・福祉施設合同大運動会		
11. 1	法人創立35周年記念ときわバザー		
11. 10	インフルエンザ予防接種①		
11. 17	インフルエンザ予防接種②		
11. 24	インフルエンザ予防接種③		
12. 2	法人創立35周年記念式典 (すいとぴあ江南)		
12. 19	愛知県ボッチャ競技大会 (稲永スポーツセンター)		
12. 25	クリスマス会		
1. 4	新年会		
1. 5	書初め大会		
1. 14	法人創立35周年交流会 (すいとぴあ江南)		
2. 3	節分まつり	2. 23 ～ 28	猫づくし展
2. 4	ボッチャふじの木杯		
2. 9	健康診断		
3. 1	ひなまつり	3. 6	ふれあいまつり

その他		施設実習等	
誕生会(敬老会含)	年間14回実施	(介護実習)	
クラブ活動	年間12回実施	愛知県立古知野高校 8名	8月3日～8月6日
保護者会	年間12回実施		8月17日～8月20日
避難訓練	年間12回実施	修文大学短期大学部 3名	3月8日～3月18日
体重測定	年間12回実施	(スポーツ教室)	
血圧測定	年間12回実施	江南市立北部中学校	5月12日
施設外活動	年間12回実施	江南市立古知野中学校	11月18日
休日余暇活動	年間2回実施	(職員研修)	
喫茶外出活動	年間47回実施	江南市新規採用職員研修	5月21日
音楽療法	年間25回実施		
軽運動	年間22回実施		
機能訓練	年間23回実施		
生活相談支援	年間12回実施		

障害者支援施設（生活介護・施設入所支援）の状況

1 契約状況（市町村別）

平成28年3月31日現在

市町村名	性別		合計	入所前の状況			
	男	女		入所施設	通所施設	在宅	入院
江南市	15人	22人	37人	0人	28人	7人	2人
一宮市	3	0	3	0	1	2	0
岩倉市	1	0	1	1	0	0	0
小牧市	0	1	1	0	0	1	0
犬山市	1	0	1	0	0	1	0
名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
北名古屋市	0	1	1	0	0	1	0
清須市	1	0	1	0	1	0	0
大口町	1	0	1	0	1	0	0
扶桑町	2	0	2	0	2	0	0
合計	24	25	49	2	33	12	2

2 障害支援区分別

平成28年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	1人	1人	8人	1人	13人	24人
女	0	1	3	8	4	9	25
合計	0	2	4	16	5	22	49

3 年齢別

平成28年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	0人	3人	13人	5人	3人	24人	47.2歳
女	0	0	2	6	9	3	5	25	46.5
合計	0	0	2	9	22	8	8	49	46.9

4 月別利用状況

(1) 生活介護（月～金曜日及び施設長が定めた日の9:00～17:00）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	1,023人	1,059人	1,048人	1,090人	1,062人	1,027人
稼働日数	22日	23日	22日	23日	23日	22日
1日当たり 平均利用人数	46.5人	46.0人	47.6人	47.4人	46.2人	46.7人
契約人数	49人	50人	50人	50人	50人	50人
利用率	94.9%	92.1%	95.3%	94.8%	92.3%	93.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	1,081人	971人	1,062人	1,024人	979人	1,072人	12,498人	1,042人
稼働日数	23日	22日	23日	23日	21日	23日	270日	23日
1日当たり 平均利用人数	47.0人	44.1人	46.2人	44.5人	46.6人	46.6人		46.3人
契約人数	50人	49人	49人	49人	48人	49人	593人	49.4人
利用率	94.0%	90.1%	94.2%	90.9%	97.1%	95.1%		93.7%

利用率 定員 50人に対し、1日平均利用人数46.3人 利用率93.7% 年間延べ12,498人が利用
年間稼働日数 270日

(2) 施設入所支援（夜間及び休日等）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	1,278人	1,298人	1,319人	1,350人	1,300人	1,294人
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日
1日当たり 平均利用人数	42.6人	41.9人	44.0人	43.5人	41.9人	43.1人
契約人数	49人	50人	50人	50人	50人	50人
利用率	86.9%	83.7%	87.9%	87.1%	83.9%	86.3%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	1,332人	1,233人	1,279人	1,201人	1,246人	1,307人	15,437人	1,286人
稼働日数	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日	31日
1日当たり 平均利用人数	43.0人	41.1人	41.3人	38.7人	43.0人	42.2人		42.2人
契約人数	50人	49人	49人	49人	48人	49人	593人	49.4人
利用率	85.9%	83.9%	84.2%	79.1%	89.5%	86.0%		85.4%

利用率 定員 50人に対し、1日平均利用人数42.2人 利用率85.4% 年間延べ15,437人が利用
年間稼働日数 366日

5 利用料収入の前年度比較

(1) 施設本体

	生活介護	施設入所支援	特定障害者特別給付費	特定費用等	合計
27年度	116,263,893円	54,324,978円	6,023,041円	20,538,539円	197,150,451円
26年度	115,457,558円	54,485,451円	8,616,153円	19,674,777円	198,233,939円
差引	806,335円	-160,473円	-2,593,112円	863,762円	-1,083,488円
前年比	100.7%	99.7%	69.9%	104.4%	99.5%

(2) 短期入所・日中一時支援

	短期入所	日中一時支援	合計
27年度	4,802,167円	1,481,602円	6,283,769円
26年度	4,206,281円	1,106,434円	5,312,715円
差引	595,886円	375,168円	971,054円
前年比	114.2%	133.9%	118.3%

(3) 特定相談支援事業

	金額
27年度	3,125,758円
26年度	2,621,374円
差引	504,384円
前年比	119.2%

施設本体は昨年度より1,083,488円が減少し、率では0.05%の減収であった。

短期入所及び日中一時支援の利用率は増加し、合わせた額で昨年度より971,054円、率では18.3%の増収であった。

特定相談はサービス等利用計画の立案やモニタリングの件数が増加し、昨年度より504,384円、率では19.2%の増収であった。

6 日常生活動作能力別

平成28年3月31日現在

区分	性別	性別		合計
		男	女	
		24人	25人	49人
食事	全介助	2	3	5
	一部介助	9	7	16
	自立(見守り・声かけ)	13	15	28
排泄	全介助	5	5	10
	一部介助	7	8	15
	自立(見守り・声かけ)	12	12	24
着脱	全介助	3	5	8
	一部介助	5	5	10
	自立(見守り・声かけ)	16	15	31
洗面	全介助	10	9	19
	一部介助	6	3	9
	自立(見守り・声かけ)	8	13	21
入浴	全介助	9	8	17
	一部介助	6	10	16
	自立(見守り・声かけ)	9	7	16
歯磨き	全介助	10	9	19
	一部介助	4	9	13
	自立(見守り・声かけ)	10	7	17
生理	全介助	0	9	9
	一部介助	0	6	6
	自立(見守り・声かけ)	0	10	10

7 入院状況

平成27年4月1日～平成28年3月31日

性別	精神神経科	その他の科	合計	備考
男	2人	1人	3人	[その他の診療科の主な入院内容] 胆のう炎手術 卵巣摘出手術
女	0	1	1	
合計	2	2	4	

8 通院状況別

平成27年4月1日～平成28年3月31日

	内科	外科	整形外科	精神神経科	皮膚科	歯科	眼科	耳鼻科	脳外科	泌尿器	婦人科	合計
男	87人	23人	161人	79人	18人	60人	10人	4人	1人	0人		443人
女	233	3	43	69	44	182	35	2	0	0	13人	624
合計	320	26	204	148	62	242	45	6	1	0	13	1,067

(把握分)

9 服薬状況

平成28年3月31日現在

性別	要服薬者	非服薬者	合計
男	19人	5人	24人
女	21	4	25
合計	40	9	49

定期薬服薬者(座薬や頓服薬者除く)

10 服薬状況内訳

平成28年3月31日現在

性別	中枢神経系 用薬使用者	その他内服 薬使用者	合計
男	15人	4人	19人
女	15	6	21
合計	30	10	40

定期薬の種類別分類

11 栄養摂取状況別

平成27年度平均

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
	(Kcal)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	(ug)	(mg)	(mg)	(mg)
平均	1,778	69.7	41.0	522	9.2	622	0.91	0.99	108
ふじの木 園基準量	1,800	66.0	40	660	11	700	1.20	1.10	100

※ 低カロリー食含

知的障害者(児)短期入所事業の状況(契約者数85名の内、31名の利用・延べ利用日数588日)

1 契約状況(市町村別)

平成28年3月31日現在

市町村名	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
江南市	37人	19人	56人
一宮市	4	3	7
犬山市	0	1	1
小牧市	2	0	2
岩倉市	0	2	2
名古屋市	0	1	1
大口町	4	4	8
扶桑町	1	7	8
合計	48	37	85

2 障害支援区分

平成28年3月31日現在

区分	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
区分1	0人	1人	1人
区分2	2	6	8
区分3	15	8	23
区分4	22	13	35
区分5	3	8	11
区分6	6	1	7
合計	48	37	85

3 年齢別

平成28年3月31日現在

性別	成人						合計	平均年齢
	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上		
男	1人	8人	24人	8人	5人	2人	48人	37.1歳
女	0	10	13	13	0	1	37	36.0
合計	1	18	37	21	5	3	85	36.6

日中一時支援事業の状況(契約者数73名の内、27名の利用 延べ利用日数283日)

1 契約状況(市町村別)

平成28年3月31日現在

市町村名	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
江南市	36人	18人	54人
一宮市	4	3	7
岩倉市	0	1	1
犬山市	0	1	1
扶桑町	1	6	7
大口町	3	0	3
合計	44	29	73

2 障害支援区分

平成28年3月31日現在

区分	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
区分1	0人	1人	1人
区分2	1	4	5
区分3	8	6	14
区分4	23	10	33
区分5	4	7	11
区分6	8	1	9
合計	44	29	73

3 年齢別

平成28年3月31日現在

性別	成人						合計	平均年齢
	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上		
男	2人	11人	21人	5人	4人	1人	44人	34.8歳
女	0	10	11	8	0	0	29	33.7
合計	2	21	32	12	4	1	73	34.3

特定相談支援事業の状況

1 契約状況（市町村別）

平成28年3月31日現在

市町村名	性別		合計	契約者の状況			
	男	女		障害者 支援施設 利用者	通所事業所 在宅者	グループホーム 利用者	在宅者
江南市	54人	46人	100人	38人	55人	5人	2人
一宮市	3	2	5	3	1	1	0
岩倉市	1	0	1	1	0	0	0
小牧市	0	1	1	1	0	0	0
犬山市	1	0	1	1	0	0	0
名古屋市		1	1	1	0	0	0
清須市	1	0	1	1	0	0	0
北名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
大口町	1	0	1	1	0	0	0
扶桑町	3	0	3	2	1	0	0
合計	64	51	115	50	57	6	2

2 障害支援区分別

平成28年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	1人	3人	6人	25人	11人	18人	64人
女	1	3	10	14	14	9	51
合計	2	6	16	39	25	27	115

3 年齢別

平成28年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計	平均年齢
男	0人	1人	6人	23人	22人	9人	1人	2人	64人	40.4歳
女	0	0	9	13	19	4	1	5	51	41.3
合計	0	1	15	36	41	13	2	7	115	40.9

4 月別支援状況

(1) サービス等利用計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
サービス等利用計画 作成件数	14件	12件	8件	6件	9件	12件

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
サービス等利用計画 作成件数	8件	8件	8件	12件	16件	15件	128件	10.7件

(2) モニタリング報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
モニタリング報告 作成件数	5件	8件	10件	10件	5件	5件

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
モニタリング報告 作成件数	4件	5件	3件	7件	8件	8件	78件	6.5件

平成27年度 ときわ作業所 事業報告書

1 ときわ作業所の運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 障害福祉サービス事業所（指定生活介護事業）
 事業所名 ときわ作業所
 所在地 江南市後飛保町高瀬69番地
 事業内容と定員 生活介護 55名（現員52名）
 日中一時支援 5名（随時）
 対象者 障害支援区分3以上（50歳以上は区分2以上）である者
 職員等 [職員]・職員5名・準職員7名・パート職員10名 計22名
 [他]・嘱託医（精神科）1名
 ・講師（音楽療法）1名 計 2名

職員 (人)

	施設長	サービス管理責任者	事務員	支援員	
				主任	支援員
男	1	1		1	2 (4)
女			1		6 (5)
合計	1	1	1	9 (9)	

	看護師	合計
男		5 (4)
女	(1)	7 (6)
合計	(1)	12 (10)

※ () 内はパート職員数、別掲

2 事業総括

(1) 生活介護

日中帯における生産活動の機会の提供及び食事や排せつ等の日常生活上の介護の他、創作的活動の機会を提供することにより、生活能力の向上に向け必要な支援を行ってきた。

生産活動では、多くの利用者が携わることのできるPPバンドの作業を試行的に取り入れたことで利用者のやりがいや責任感を養うことができた。また、印刷やボカシ、手芸品等の自主作業は、受注量の変動があり増減がみられたが、印刷の名刺では、印刷機の設定を変更したことにより市役所指定の台紙の全てに対応しニーズに応えられるようになった。

創作的活動や余暇活動等、利用者が自発的に参加し役割を持って活動できるよう、新たに事業所内の運動会である「なかよし会」を試行的に実施した。

給食支援は、委託業者と連携し利用者が選択できる献立の提供や新しい献立の発案を行うなど利用者の嗜好に合わせた提供ができた。

ときわホームのバックアップは、利用者・保護者との連携を図りながら、利用者の体調面及び精神面の把握に努め慎重に進めた。

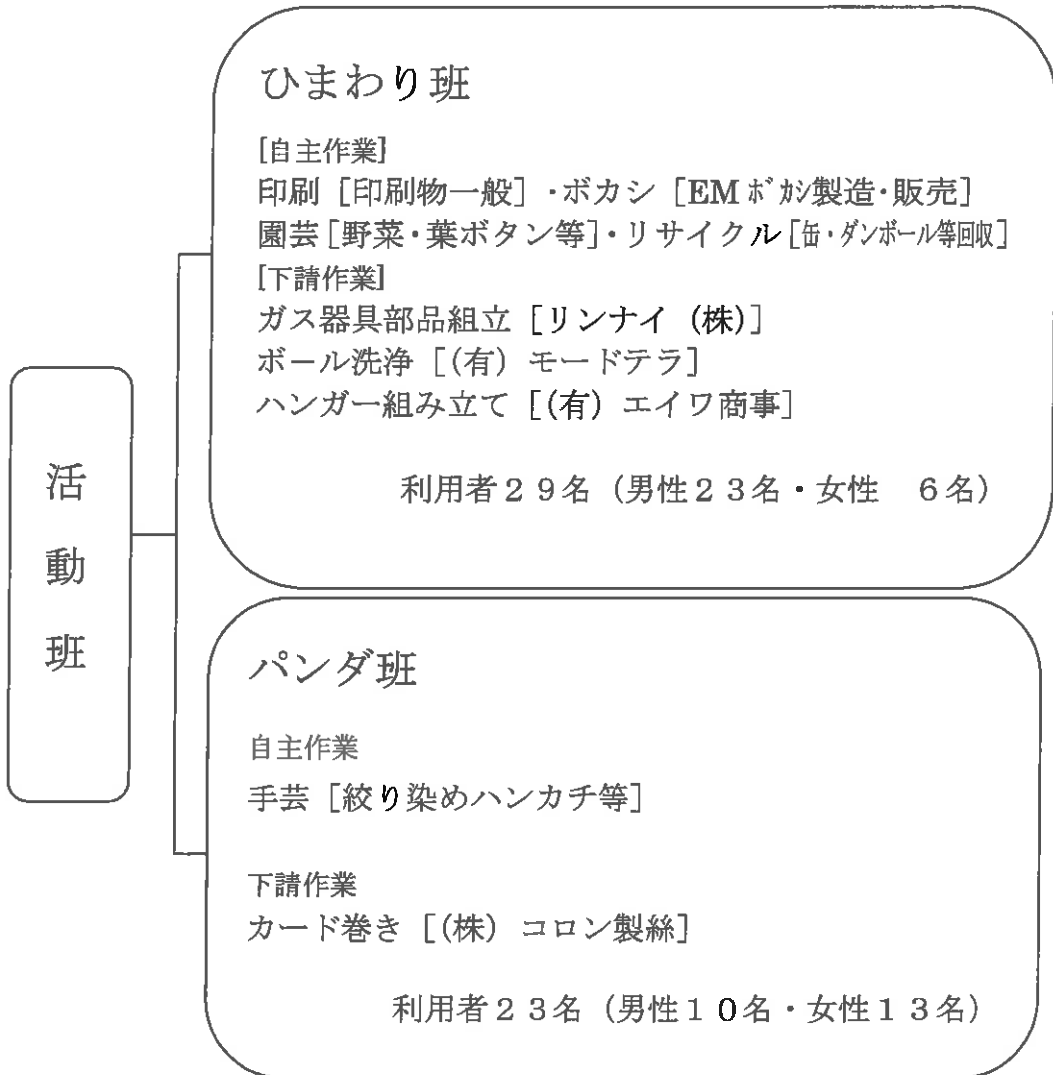
施設の稼働日数は255日、平均利用人数は47.0人で利用率は88.7%であった。施設の利用料収入は、4月より1名、年度途中で2名の計3名の退所者が生じたことによる減収のため、額で昨年度より、4,129,685円の減収であった。

(2) 日中一時支援

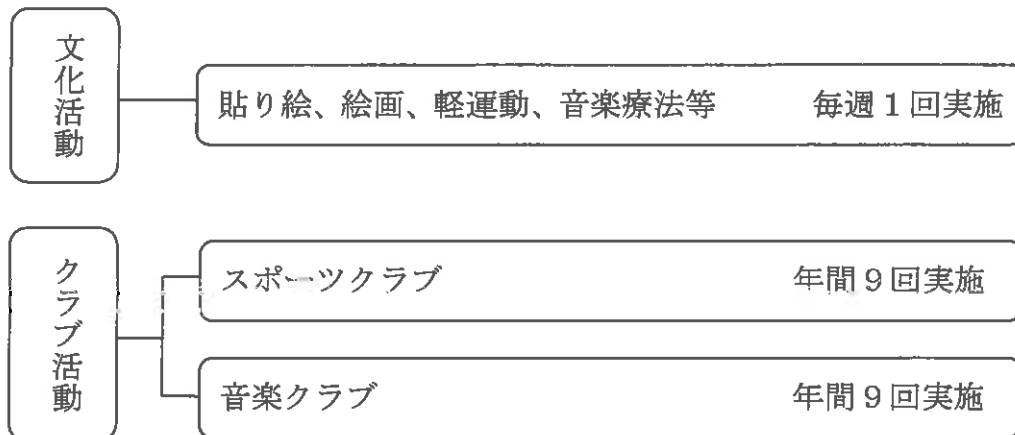
一宮東特別支援学校の生徒を夏休み期間の事業所利用として、7月から8月に受け入れをした。また、3月には平成28年度から生活介護事業利用予定者2名の受け入れをした。日中一時支援の利用希望者の減少に伴い、受け入れ人数が大幅に減少し、昨年度より89,651円、率では33.9%の減収となった。

事業内容

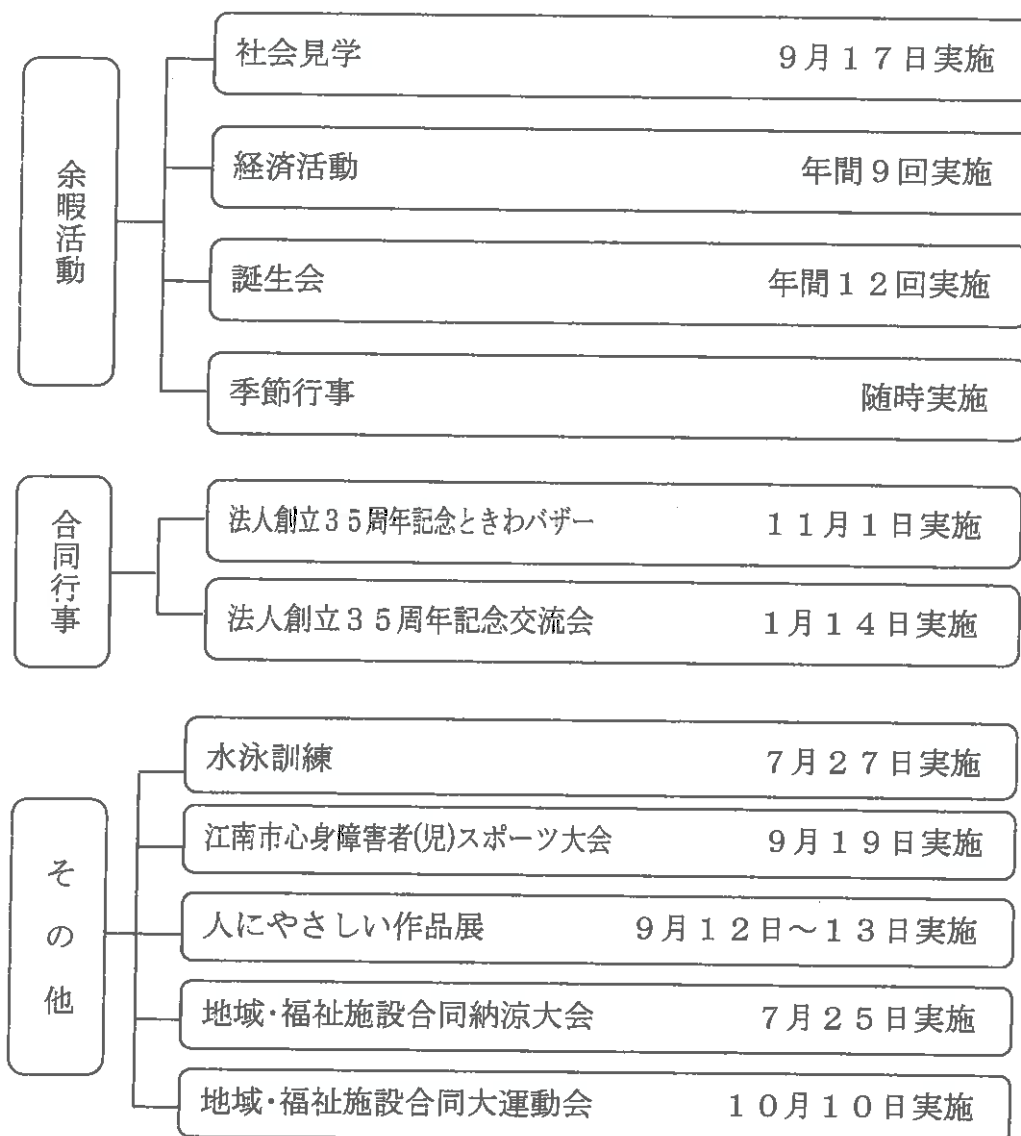
1 生産活動



2 創作的活動 (ときわ・小規模共通)



3 その他の活動 (ときわ・小規模共通)



4 健康支援

健康調査表、健康診断の結果、日常の健康観察を行うことで、健康診断時等に適切な情報提供ができた。また、徐々に利用者からも健康状態等について話を聴くことができるようになった。

歯科衛生士による「健康教育」、「歯磨き指導」を継続し行ったことにより、歯磨き習慣がついてきており、歯と歯肉、口腔内の健康の保持増進に繋げることができた。

5 給食支援

利用者の身体状況に応じた刻み食や粥食等を提供するよう努めた。また、残渣量を基に委託業者との連絡を重ねることで、新しい献立等の発案に繋ぐこともでき、利用者の嗜好に合わせた給食提供ができた。

衛生面では、食中毒防止と調理業務の衛生管理に努めることで清潔感のある厨房、食堂を保つことができた。

6 ときわホームのバックアップ

ときわホームの利用者の状況を朝礼や終礼の中でときわホームの職員とその都度確認し、利用者の体調面及び精神面の把握に努め、日中の利用者支援の向上に繋げることができた。

7 その他

(1) 送迎サービス

保護者付き添い利用者の通所時の負担軽減や、電車、バス等の公共交通機関や有償送迎を利用し通所している利用者に対して、送迎サービスを実施した。利用者の通所意欲の向上、保護者の送迎負担の軽減に繋がっているが、対象者の中に、送迎サービスの利用ができていない利用者がみえたため、通所に対する意識づけに結びつけられるよう送迎利用の促しを継続して行った。

また、送迎の拡充への要望は強く出ており、拡充に向けた検討を開始し、試行的に保護者送迎困難時の送迎サービスを実施した。

(2) 工賃

作業時間帯の捉え方や事業所のサービス全体を含めた工賃支給の在り方に関して検討した。減算支給の4年目であったが、工賃の評価方法を見直し、作業種目や評価観点を修正した工賃基準を確立していく必要があると判断できた。

(3) 今後の事業所方針の検討について

現在、作業を中心とした支援を行っているが、今後利用者の高齢化・障害の重度化に合わせ、多くの利用者が携わることのできる作業の取り入れに向け、試行的にPPバンド作業を取り入れた。また、個々に合わせた支援をしていくため、外部講師を招いたストレッチを試行的に実施した。

(4) 施設整備

利用者の障害の重度化、高齢化に対応するため、2階利用の便宜を図るため昇降機の設置や間口の改修を実施し、環境の整備を進めた。

(5) 非常災害対策計画の見直し

江南市の防災計画と連動させた検討が必要となるが、事業所利用者への対応として緊急災害用の非常食を整備した。

(6) 第三者評価の実施

本部事業報告参照。

生産活動報告

1 ひまわり班

自主作業

①印刷 [印刷物一般]

名刺印刷は、年度途中より、お客様のニーズに応える為、江南市の指定台紙すべての種類の受注を開始したことで、昨年と同等の注文を受けることができた。

オフセット印刷は、昨年度と同等の注文を受けることができた。

市章プレスや納品業務は利用者が携わることで、製品に仕上がっていく過程を知ることができ、喜びを感じてもらおうと共に仕事に対する責任感も養うことができた。

②ボカシ [EMボカシ製造、販売]

製品になるまでの工程を多くの利用者に関わってもらえるように、各工程を分担し、作業に取り組めるように支援していくことで責任感を養うことができた。週2回の納品を基本に販売店を訪問することで、売り上げ数の把握と商品の状態を把握し品質を一定に保つことができた。納品についても、納品先のボカシの設置場所の把握ができ自信を持って取り組めた。納品先の職員の方や地域の方にも顔を覚えていただけ、励ましの言葉がけをしていただき、利用者の意欲向上に繋げることができた。

③園芸 [野菜・葉ボタン等]

利用者の帰宅時の野菜販売は、保護者の方にも好評であった。畑の水やりや草取りの手入れは、利用者も携わることで、野菜の育ち具合を利用者も確認することができた。イモ掘りについては、皆で協力して育ててきたという充実した笑顔が多くみられ協調性、責任感を養うことができた。

④リサイクル [アルミ缶・新聞・ダンボール等回収等]

ダンボール等の回収業務は、施設内で整理整頓し、こまめに納品をした。他の作業の流れも考慮しながら、できるだけ多くの利用者が回収業務に参加できるように1週間ごとにスケジュールを立て取り組んだ。また、アルミ缶の分別の作業やダンボールの積み下ろし作業については、利用者が重い物を一緒に運ぶ姿も見られ、協力して作業を進めていくことができた。

下請け作業

①ガス器具部品組立 [リンナイ株]

納入カードを色分けする等、利用者が分かりやすいよう工夫をすることで多くの利用者が携われる作業となった。資材の組み付け以外にも、納品箱の清掃や納入カードの準

備、トラックの積み下ろし作業など、利用者が関わる工程を増やし自信にも繋がった。また、かんぱん（資材）管理表を作成し業者との資材の確認を綿密にしたことにより、納期に遅れることなく対応することができた。

②ボール洗浄 [(有)モードテラ]

ボール洗浄には、障害の程度に関わらず、多くの利用者に関わってもらえるよう努めた。また、各利用者に作業工程をしっかりと伝えていくことで少しずつではあるが自信を持って取り組めるようになった。自信を持つことで、不良品の選別についても利用者自身で判断することができた。納品業務に携わる利用者も増え、社会との繋がりを持つことができた。

③ハンガー組み立て [(有)エイワ商事]

工程毎に分かりやすく説明しながら役割分担をして取り組んだことで、一人一人が作業の大切さを自覚し、資材の不良を見分けることもできるようになり、質の高い製品作りに結び付けることができた。組み付け、バネ付け、型はめ、シール貼りと多くの工程にやりがいを持って取り組めるようになった。

業者とも連携を取り、利用者に合わせた工程の見直しをすることで、多くの利用者が携われるものになってきた。

2 パンダ班

自主作業

①手芸 [絞り染めハンカチ等]

絞り染め製品については、染料の色決めや絞り方を話し合い自分たちで決めたことで、仕上がりを楽しみにし、やりがいを持って取り組むことができた。

また、色落ち防止に力を入れたことで、ハンカチだけでなく、タオルについてもお客様に好評で、「きれいだね、頑張ってるね」と声を掛けてもらうこともあり製品作りの喜びも感じられた。

マスコット製品は、季節に合わせた商品に力を入れたことで、バッチなどが販売先（ロビー販売・バザー販売）でも好評で、地域との交流にも繋げることができた。

下請け作業

①カード巻き [(株)コロン製絲]

カードをまっすぐに差し込むことを意識し、定期的に機械の油さしを利用者と一緒に確認しながら行い、機械の巻き方が安定するように進めたことで、作業への意識を高めることができた。糸が歪んでカードに巻き取られた際には、業者と連携を図り、早めに機械の点検や扱い方の確認に努めた。利用者も安心して取り組むことができ、不良品の

減少にも繋げることができた。カード巻き後の糸の汚れを確認するブラシ掛けについては、利用者が協力して取り組むことができた。

創作的活動報告（ときわ・小規模共通）

1 療育活動

音楽療法は、毎月外部講師を招いて行い、利用者に歌う楽しさや楽器の音色、音を体で表現することなど音楽の色々な楽しみ方があることを感じ取ってもらうことができた。また、利用者が希望した曲を皆で歌ったり、音楽に合わせた体操を取り入れたりすることで、音楽療法を楽しみにする利用者も増え情緒の安定にも繋がった。

2 文化活動

貼り絵や絵画は、季節に合わせた作品や作品展に向けて合同作品を活動班ごとに協力して作ることにより、仲間と一緒に作り上げる喜びや達成感に繋げることができた。

軽運動についても、フライングディスクや、ボッチャ等の慣れ親しんだ運動を通して、ルールや順番を守ることの大切さを学び、譲り合い、助け合う協調性を養うことができた。また、利用者の体力の維持・向上を目的として、試行的に外部講師を招いたストレッチを取り入れたことで、日々の生活の中での健康に対する意識付けにも繋げることができた。

文化活動を通して利用者の施設生活にメリハリも付き、笑顔も増え余暇の過ごし方や興味の幅を広げることに繋がった。

3 クラブ活動

① スポーツクラブ

予定していた近隣公園での活動も実施することができた。バスで近隣公園へ移動し、集団でウォーキングをすることで、団体行動や集団でのルールを身につけることができた。フライングディスク、キャッチボール、バドミントン、ボッチャ等の活動に加え、江南市市民体育会館で行った「なかよし会」ではクラブの利用者が一緒に、玉入れや徒競争といった競技内容を検討することができた。大会に向けた練習を行うことで、本番への意欲に繋げることもできた。各活動を通して気分転換や体力の維持、向上の他、生産活動への活力にもつながった。季節に応じた工作・運動や天候に応じてDVD鑑賞も取り入れ、総合的な活動を行うことができた。

年間9回実施

② 音楽クラブ

利用者の希望を取り入れ、1年間の計画を立てて実施した。クリスマス会の発表に向けて、ハンドベルの練習をし、緊張をした姿も見られたが、発表会ではしっかりと皆の前で音色を響かせ発表をすることができた。年間を通して妖怪体操をクラブの中

に取り入れ、音楽を通して楽しみながら体を動かすことができた。

また、法人創立35周年を節目とした記念式典、交流会ではクラブの利用者中心にふじの木園の利用者と共に練習、発表をし音楽を通して法人内の他事業所の利用者との交流を図る良い機会となった。音楽だけでなく、季節の行事を取り入れカルタや雛人形を折り紙で作成し活動の幅を広げることもできた。

年間9回実施

その他の活動報告（ときわ・小規模共通）

1 余暇活動

① 社会見学

名古屋市港防災センターでは、煙避難体験や地震体験をすることで、災害に対する備えの大切さを学んだ。また、トヨタ産業技術記念館では、自動車に使われている技術を取り入れた遊具で遊ぶことで楽しみながら車の仕組みについて学ぶことができた。1日を通し、楽しみながら教養を高め、集団行動の中でのマナーを身につける機会となった。

実施日 平成27年9月17日

名古屋市港防災センター、トヨタ産業技術記念館

② 経済活動

日頃の生産活動を離れ、メナード美術館や鶴飼ミュージアム、名古屋港水族館等色々な所に出かけ、仲間と共に行動することにより地域との交流を図ることができた。利用者が中心となり、行き先や昼食内容も計画し、自分達で楽しみを考えて行く工程の充実感と金銭の価値を理解する体験ができた。

3班年間9回実施

③ 誕生会

利用者中心で誕生会を実施し、友達から祝福される喜びを感じるとともに、共に祝福する気持ちを育むことができた。

年間12回実施

④ 季節行事

納涼大会、スポーツ大会、クリスマス会など各種行事を通して季節の移り変わりを肌で感じ取り、地域の中で社会生活を送っていることの喜びを感じることができた。

また、新たに取り入れた江南市民体育会館での事業所内の運動会である「なかよし会」では、スポーツに参加し、皆で応援し合うことで、協調性を養うことができ、「なかよし会を毎年やりたい」と話す利用者の姿を多く見る事ができた。

2 合同行事

① 法人創立35周年記念ときわバザー(平成27年11月1日)

法人創立35周年の節目と捉え、例年のイベントに加え抽選会も行い、にぎやかにバザーを開催することができた。合同行事や各施設を紹介するポップをときわ会場で掲示したり、開催時期を早め感染症対策にも力を入れたことで、地域の方にもたくさん参加して頂け、交流を深めると共に、ときわ会を知ってもらえる良い機会となった。

開催場所 ときわ作業所、ふじの木園(授乳スペース設置)、ときわホーム「ニコット」、畑

② 法人創立35周年記念交流会(平成28年1月14日)

式典は、法人創立35周年記念式、新成人を迎えたときわ作業所の2名の利用者を皆で祝福した成人の集いが行われた。祝賀会では、他事業所と合同でハンドベルの演奏を行ったり、食事を通して交流を深めることができた。

また、皆が楽しみにしている江南消防音楽隊の演奏もあり楽しい時間を過ごすことができた。

開催場所 すいとびあ江南

3 その他

① 水泳訓練(平成27年7月27日)

皆と一緒に泳ぎ方や水中歩行等の練習をしたり交流を深めながら自由に水に親しむ時間を設けたことで、一緒に水泳を楽しみながら、身体を動かす楽しさを感じることができた。

開催場所 木賀コミュニティープール

② 江南市心身障害者・児スポーツ大会(平成27年9月19日)

スポーツ大会に参加したさまざまな障害を持った人たちと共に、各種競技に参加しながら気持ちの良い汗を流し交流を深めることができた。また、近隣施設の方々と交流を深めることができた。

開催場所 江南市民体育会館

③ 人にやさしい作品展(平成27年9月12日～13日)

仲間と一緒に作品を作ることを通して、協力し合い自分の役割をしっかりと行い作品ができ上がっていくことで喜びを感じることができた。

開催場所 江南市民文化会館

④ 地域・福祉施設合同納涼大会(平成27年7月25日)

事前に講師の方を招いて盆踊りの練習をし、当日への意欲も高めることができた。夕方から行われた行事であったが、日頃接する機会が少ない老人施設の方や地域の方との交流や夜店の雰囲気を楽しむことができた。事前に盆踊りの練習をしたこともあって、盆踊りに参加し楽しく踊ることができた。

開催場所 ジョイフルむつみグラウンド

⑤ 地域・福祉施設合同運動会(平成27年10月10日)

競技を楽しみ、お互いに応援することで連帯感や協調性を身につけることができた。また、競技や児童によるお遊戯、中学生の鳴子踊りを通して、地域や近隣施設の方たちと楽しく交流を図ることもできた。風船につけて飛ばしたメッセージカードについても、返事が届き、運動会の思い出を思い返すきっかけとなり楽しさも倍増された。

開催場所 ジョイフルむつみグラウンド

平成27年度 ときわ作業所・江南市心身障害者小規模授産施設行事等報告

月 日	行 事 等		月 日	他団体協力バザー
5. 7	曼陀羅寺招待		4. 23	藤まつり
5. 23	県障害者スポーツ大会 (豊田市運動公園)	県社会福祉協議会	～5. 6	(奇数日参加)
			5. 24	こどもフェスティバル
7. 2	健康診断 (移動検診車)	名古屋公衆医学研究所	6. 1	きそがわ ほのぼのまつり
7. 25	地域・福祉施設合同納涼大会	地域・施設合同委員会		
7. 27	水泳訓練 (木賀プール)	障害者 (児) 連絡協議会		
7. 28	あゆみエンジョイSummer			
8. 20	歯科検診	尾北歯科医師会		
9. 12	人にやさしい作品展 ～13 (江南市民文化会館)	障害者 (児) 連絡協議会	9. 12	人にやさしい作品展
9. 17	社会見学 (トヨタ産業技術記念館 他)		～13	
9. 19	心身障害者 (児) スポーツ大会 (江南市民体育会館)	障害者 (児) 連絡協議会	9. 21	くるみの里ふれあいガーデン
			9. 29	古知野高校文化祭
10. 10	地域・福祉施設合同大運動会	地域・施設合同委員会	～30	
10. 16	いも掘り		10. 3	江南市民まつり
～23			～ 4	
11. 1	法人創立35周年記念ときわバザー	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同	11. 7	収穫祭
11. 11	なかよし会		～8	
			11. 23	コスモスまつり
12. 2	法人創立35周年記念式典 (すいとびあ江南)			
12. 24	クリスマス会			
1. 14	法人創立35周年記念交流会 (すいとびあ江南)	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同		
2. 17	健康診断	藤原医師	2. 23	猫づくし展
			～28	
			3. 6	ふくし江南ふれあいまつり
			3. 13	たけのこまつり
				いずみまつり
その他			施設実習	
	身体測定	12回実施	愛知教育大学	12名 (9月～12月)
	誕生会	12回実施	尾北看護専門学校	5名 (2月)
	クラブ活動	9回実施		
	経済活動	9回実施		
	避難訓練	2回実施		
	保護者会	12回実施		
	医療相談	12回実施		

利用者の状況

1 市町村別

平成28年3月31日現在

出身地	性別		合計	入所前の状況		
	男	女		在宅	他施設	学校
江南市	31人	17人	48人	9人	15人	24人
一宮市	1	2	3	0	0	3
扶桑町	1	0	1	1	0	0
合計	33	19	52	10	15	27

2 障害支援区分別

平成28年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	1人	1人	1人	15人	9人	6人	33人
女	0	1	5	7	6	0	19
合計	1	2	6	22	15	6	52

3 年齢別

平成28年3月31日現在

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	6人	15人	8人	4人	0人	33人	37.1歳
女	0	7	1	9	1	1	19	37.4
合計	0	13	16	17	5	1	52	37.3

4 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	1,079人	905人	1,067人	1,091人	952人	953人
稼働日数	22日	19日	22日	23日	20日	21日
1日当たり 平均利用人数	49.0人	47.6人	48.5人	47.4人	47.6人	45.4人
契約人数	54人	53人	53人	53人	53人	53人
利用率	90.8%	89.9%	91.5%	89.5%	89.8%	85.6%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	1,071人	943人	991人	916人	946人	1,070人	11,984人	998.7人
稼働日数	23日	20日	21日	20日	21日	23日	255日	21.3人
1日当たり 平均利用人数	46.6人	47.2人	47.2人	45.8人	45.0人	46.5人		47.0人
契約人数	53人	53人	53人	53人	53人	52人	636人	53.0人
利用率	87.9%	89.0%	89.0%	86.4%	85.0%	89.5%		88.7%

利用率 定員55名のところ契約人員53人 平均利用人数47.0人 利用率88.7%

年間述べ11,984人が利用

年間稼働日数 255日

5 利用料収入の前年度比較

(1) 施設本体

	生活介護	特定費用等	金額
27年度	86,114,834円	3,789,263円	89,904,097円
26年度	91,104,992円	2,928,790円	94,033,782円
差引	-4,990,158円	860,473円	-4,129,685円
前年比	94.5%	129.4%	95.6%

利用料収入は、4月より1名、年度途中で2名の計3名の退所者が生じたことによる減収のため、額で昨年度より、4,129,685円の減収であった。

(2) 日中一時支援

	金額
27年度	174,485円
26年度	264,136円
差引	-89,651円
前年比	66.1%

6 生産活動収入の状況

(1) 生産活動全体

	金 額
27年度	6,187,138 円
26年度	6,017,870 円
差引	169,268 円
前年比	102.8%

前年度に比較して、額で169,268円、率で2.8%の増収であった。

(2) 内訳

① 自主作業収入

	金 額
27年度	2,556,340 円
26年度	1,960,938 円
差引	595,402 円
前年比	130.4%

② 下請作業収入

	金 額
27年度	3,630,798 円
26年度	4,056,932 円
差引	-426,134 円
前年比	89.5%

自主作業収入は、前年度に比較して595,402円の増収であった

下請作業収入は、前年度に比較して426,134円の減収であった。

7 日常生活動作能力別

区 別	性 別	男	女	合 計
		33人	19人	52人
食 事	全 介 助	1	0	1
	一 部 介 助	11	17	28
	自立(見守り・声掛け)	21	2	23
排 泄	全 介 助	2	0	2
	一 部 介 助	11	11	22
	自立(見守り・声掛け)	20	8	28
生 理	全 介 助	—	0	0
	一 部 介 助	—	14	14
	自立(見守り・声掛け)	—	5	5

日中一時支援事業の状況(年間12名・延べ利用日数36日)

1 契約状況(江南市)

平成28年3月31日現在

市町村名	児童(18歳未満)		成人(18歳以上)		合計
	男	女	男	女	
江南市	6人	4人	2人	0人	12人

2 障害支援区分

平成28年3月31日現在

区分	児童(18歳未満)		成人(18歳以上)		合計
	男	女	男	女	
区分1	1人	0人	0人	0人	1人
区分2	2	2	0	0	4
区分3	3	2	1	0	6
区分4	0	0	0	0	0
区分5	0	0	1	0	1
区分6	0	0	0	0	0
合計	6	4	2	0	12

3 年齢別

平成28年3月31日現在

性別	児童		成人		合計	平均年齢
	12~15歳	16~18歳	18~19歳	20~29歳		
男	3人	3人	1人	1人	8人	15.9歳
女	3	1	0	0	4	14.5
合計	6	4	1	1	12	15.4

平成27年度 ときわホーム 事業報告書

1 ときわホームの運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 施設種別 指定共同生活援助事業所 [共同生活援助(介護サービス包括型)事業]
 施設名 ときわホーム「ニコット」
 所在地 江南市河野町五十間115番地
 事業内容と定員 共同生活援助 6名(現員 6名)
 職員等 [職員]・職員6名・準職員3名・パート職員3名 計12名

職員 (人)

	施設長	サービス 管理責任者	世話人	生活支援員	合計
男	1	1	0	4	6
女	0	0	(3)	3	3 (3)
合計	1	1	(3)	7	9 (3)

※ () 内はパート職員数、別掲

2 事業総括

(1) 共同生活援助

利用者がホームで楽しく、充実した共同生活を送るために入浴、排せつ及び食事等の援助や相談、調理、洗濯、掃除等の日常生活上の支援を行った。

生活面では、利用者それぞれが性格や生活習慣の違いから戸惑いやぶつかり合うことがあり、その都度調整を図りながら共同生活の習慣を身に着けるよう支援した。また、利用者同士の話し合いを行う中で生活上の約束事や役割りも決め共同生活が円滑に送れるよう支援した。

ホームの利用は、現在週末を家庭で過ごし気持ちのリフレッシュをしながら利用しているため、一日の平均利用人数は4.7人で利用率は77.6%であった。利用料収入は、休日利用が増えたことによる増収もあり、額で昨年度より1,288,984円、率では15.4%の増収であった。

事業内容

1 事業支援

利用者の環境、年齢及び心身の状況に応じた個別支援や余暇活動等を行い、グループホームでの生活の充実と地域への積極的な参加を図った。

食事は、利用者の身体状況や健康状態や日中利用している施設給食も配慮し、粥食、低カロリー食、代替食等を提供した。また、月々の身体測定の結果を基に体重の増減の推移も見ながら食事を提供し柔軟に対応してきた。また、季節感のあるメニューを献立に取り入れたり、誕生者リクエストメニューを加えたりと楽しみのある食事を提供してきた。

[主な取り組み] ・行事食 その都度（忘年会等）
 ・誕生者リクエストメニュー その都度（誕生者が希望した一品）

2 健康支援

感染症対策について、11～3月を予防期間として位置付け、消毒清掃等の徹底や、うがい・手洗いの徹底をし感染予防の強化に努めた。今季は、利用者のインフルエンザの感染者が1名あったが、ノロウイルスの発症はなかった。

3 余暇支援

① 外出・休日余暇活動

余暇時間や休日を利用してホーム近辺の散策を兼ねた外出に出掛けた。利用者間で行き先や食事について話し合い、利用者主体の計画で行うことに努めた。その結果、当日までの間も、楽しみを持って過ごすことができた。

[実施回数] 年3回実施

[主な行き先] コンビニエンスストア、モスバーガー等

② 誕生会

誕生者がリクエストしたメニューを夕食に加えた食事を全員で食べる際、誕生者をお祝いし一年間健やかに過ごすことが出来たことを皆と話しながら楽しい会食時間を過ごすことができた。

[実施回数] 年6回実施

③ 季節行事

春には曼陀羅寺の藤祭りの花見にホームから全員で近隣の散策もしながら出かけ、屋台や出店のゲームを楽しんだり、年末の忘年会ではホーム支援に関係する職員も交え丁度クリスマスの日に行った関係、全員でクリスマスソングを歌い今年一年の出来事を語り合い、楽しい時間を食事しながら過ごすことができた。

4 地域生活支援

近隣施設が地域住民の方たちを交えて合同で行う夏の納涼行事「地域・福祉施設合同納涼大会」への参加を行った。また、散歩などで近隣を出歩く際には地域の方々への挨拶に努めた。

【実施回数】年1回実施

【主な行き先】ジョイフルむつみグランド

平成27年度 ときわホーム 行事報告

月日	行事等	月日	関係団体行事
4.29	曼陀羅寺花見会		
5			
6			
7		25	地域・福祉施設合同納涼大会 [合同行事運営委員会]
8			
9		9.12 ~13	人にやさしい作品展 [障害者(児)連絡協議会]
10			
11			
12.25	忘年会		
1			
2			
3			
<p>[その他]</p> <p>誕生会 [6回実施]</p> <p>家族会 [4回実施]</p> <p>避難訓練 [2回実施]</p>			

共同生活援助事業所の状況

1 契約状況（市町村別）

平成28年3月31日現在

市町村名	性別		合計	入居前の状況			
	男	女		入所施設	通所施設	在宅	入院
江南市	0人	5人	5人	0人	0人	5人	0人
一宮市	0	1	1	0	0	1	0
合計	0	6	6	0	0	6	0

2 障害支援区分別

平成28年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
女	0	0	3	3	0	0	6
合計	0	0	3	3	0	0	6

3 年齢別

平成28年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0歳
女	0	0	0	0	5	1	0	6	45.5
合計	0	0	0	0	5	1	0	6	45.5

4 月別利用状況

共同生活援助

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	146人	140人	133人	146人	140人	133人
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日
1日当たり平均利用人数	4.9人	4.7人	4.3人	4.7人	4.7人	4.3人
契約人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人
利用率	81.1%	75.3%	73.9%	78.5%	75.3%	73.9%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	141人	150人	142人	141人	150人	142人	1,704人	142人
稼働日数	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日	30.5日
1日当たり平均利用人数	4.7人	4.8人	4.9人	4.7人	4.8人	4.9人		4.7人
契約人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人	72人	6人
利用率	75.8%	83.3%	76.3%	75.8%	86.2%	76.3%		77.6%

利用率 定員6人に対し、1日平均利用人数4.7人 利用率77.6% 年間延べ1,704人が利用

年間稼働日数 366日

5 主な日中活動先

日 中 活 動 先			人数
就 労			0人
サ 障 害 ビ 福 祉 社	生活介護		6人
	就労移行支援		0人
	就労継続支援	A型	0人
		B型	0人
	地域活動支援センター	I型	0人
II型		0人	
III型		0人	
合 計			6人

6 利用料収入の前年度比較

共同生活援助

	共同生活援助	特定障害者特別給付費	特定費用等	合計
27年度	7,015,654円	720,000円	1,944,000円	9,679,654円
26年度	5,870,670円	720,000円	1,800,000円	8,390,670円
差 引	1,144,984円	0円	144,000円	1,288,984円
前年比	119.5%	100.0%	108.0%	115.4%

平成27年度 江南市心身障害者小規模授産施設

事業報告書

1 江南市心身障害者小規模授産施設の運営

設置主体	江南市
経営主体	社会福祉法人 ときわ会
事業種別	地域活動支援センター（Ⅲ型）
事業所名	江南市心身障害者小規模授産施設
所在地	江南市後飛保町高瀬66番地
定員	概ね15名（現員15名）
職員数	職員4名・準職員1名・パート職員1名 計6名

職員 (人)

	施設長	事務員	指導員		合計
			副主任	指導員	
男	1	1	1	1	4
女				1 (1)	1 (1)
合計	1	1	3 (1)		5 (1)

※ () 内はパート職員数

2 事業総括

日中帯における生産活動の機会の提供及び食事や排せつ等の日常生活上の介護の他、創作的活動の機会を提供することにより、生活能力の向上に向け必要な支援を行ってきた。

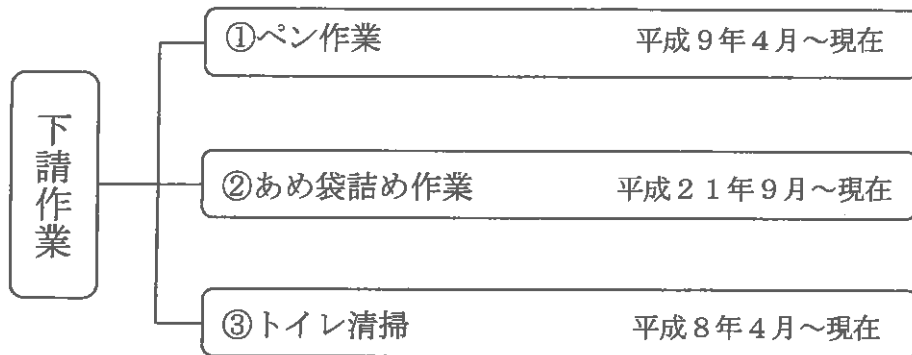
下請作業は、親会社の生産計画により作業量が時期による増減は見られたが、施設の状況に合わせた作業の提供を受けることができ、指定期日までに仕上げることができた。

ガーデニングについては、個々のプランターで自分で選択した夏野菜を植え、成長過程に合わせて水やり、草取りをしながら収穫に結び付け、楽しみを持って育てることができた。

給食支援は、委託業者と連携し利用者が選択できる献立の提供や新しい献立の発案を行うなど利用者の嗜好に合わせた提供ができた。

施設の稼働日数は255日、平均利用人数は13.4人で利用率は89.3%であった。

3 生産活動



生産活動報告

下請作業

①ペン作業 [市川産業]

種類、作業工程共に多い仕事であるが、利用者も作業工程を理解できるようになってきており、丁寧かつ、確実に行うことができた。資材の受け渡しは元会社の生産予定により急ぐこともあったが、施設の状況に合わせて資材の提供を受けることができ、納期にも遅れることなく行えた。

②あめ袋詰め作業 [フジセイ工業]

食品を扱う為、手洗い、消毒を徹底するなど衛生面に配慮し、利用者も責任を持って作業に取り組むことができた。袋詰め作業の種類が増えたことで納品数も増え、やりがいを持って作業に取り組むことができた。

③トイレ清掃 [江南市]

トイレ清掃終了後の便器消毒や手洗い場等の衛生管理に努めた。清掃手順等一連の作業工程を事前に行うことで、利用者が責任を持って清掃作業に取り組めるようになった。

創作的活動報告

※ときわ作業所と一体で実施

その他の活動報告

※ときわ作業所と一体で実施

行事報告

※ときわ作業所と一体で実施

利用者の状況

1 利用状況

平成28年3月31日現在

出身地	性別		合計	利用前の状況		
	男	女		在宅	他施設	学校
江南市	6人	9人	15人	0人	0人	15人
合計	6	9	15	0	0	15

2 障害支援区分別

平成28年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	3人	3人	0人	0人	6人
女	2	1	3	2	1	0	9
合計	2	1	6	5	1	0	15

3 年齢別

平成28年3月31日現在

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	1人	5人	0人	0人	0人	6人	32.8歳
女	0	1	8	0	0	0	9	30.1
合計	0	2	13	0	0	0	15	31.2

4 月別利用状況

平成28年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	292人	255人	309人	309人	269人	266人
稼働日数	22日	19日	22日	23日	20日	21日
1日当たり 平均利用人数	13.3人	13.4人	14.0人	13.4人	13.5人	12.7人
契約人数	15人	15人	15人	15人	15人	15人
利用率	88.5%	89.5%	93.6%	89.6%	89.7%	84.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	304人	268人	282人	263人	286人	312人	3,415人	284.6人
稼働日数	23日	20日	21日	20日	21日	23日	255日	21.3日
1日当たり 平均利用人数	13.2人	13.4人	13.4人	13.2人	13.6人	13.6人		13.4人
契約人数	15人	15人	15人	15人	15人	15人	180人	15.0人
利用率	88.1%	89.3%	89.5%	87.7%	90.8%	90.4%		89.3%

利用率 定員概ね15名のところ契約人員15人 平均利用人数13.4人 利用率89.3%
年間延べ3,415人が利用
年間稼働日数255日

5 生産活動収入の状況

	金額
27年度	884,361円
26年度	794,964円
差引	89,397円
前年比	111.2%

平成27年度 デイサービス施設あゆみ 事業報告書

1 あゆみの運営

設置主体 江南市
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 地域活動支援センター（Ⅱ型）
 事業所名 江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ
 所在地 江南市後飛保町平野75番地の2
 定員 1日25名
 職員等 [職員]・職員3名 ・パート職員7名 計10名
 [他]・講師（日常生活動作訓練・機能回復訓練・音楽療法
 和太鼓・書画・パソコン・ストレッチ） 計7名

職員 (人)

	指導員		事務員	運転手	介助員	看護師	合計
	主任	指導員					
男			1	(2)			1 (2)
女	1	1 (2)			(1)	(2)	2 (5)
合計	2 (2)		1	(2)	(1)	(2)	3 (7)

※ () 内はパート職員数、別掲

2 事業総括

基本事業である機能訓練、社会適応訓練、創作的活動などの地域活動支援センター事業及び障害者団体等への貸館事業を行った。

地域活動支援センターの利用状況は、3月31日現在で15人が登録し1日あたりの平均利用人数は7.1人であった。

貸館事業の利用状況は、21回で233人の利用であった。

事業面では、利用者の日常の状態把握、健康管理等の支援のほか医療ケアなどそれぞれの状態に合った介助方法に努めた。また新たに利用者、障害者同士のふれあいの場作りを目的とした「あゆみエンジョイSummer」を開催し、法人内の利用者や介護者、関係者が集いゲームや踊りなどを一緒に楽しみ、盛況に実施することができた。

合同行事として法人の創立35周年を記念した交流会、ときわバザーに参加しイベント等を通して利用者や地域の人々と交流を深めることができた。その他、利用者の静養や体調不良時の対応として簡易ベッドを整備した。

事業内容

1 基本事業

①機能訓練（5事業 133回実施）

ア 日常生活動作訓練（24回実施 183人利用）

日常生活上の身体の動作が合理的に運動できるよう、レザー製作をとおした訓練や軽運動を作業療法士の指導により月2回行った。

イ 機能回復訓練（74回実施 493人利用）

毎週金曜日と第1、第3木曜日に障害の状態や能力に応じた座位、立位、歩行訓練等の機能訓練を理学療法士の指導により行った。

ウ 家事訓練（12回実施 83人利用）

栄養バランスを考えた簡単な料理等を月1回行った。

エ 音楽療法（12回実施 80人利用）

心の癒しや機能回復の促進を図るため、講師の指導により月1回行った。

オ 和太鼓療法（11回実施 67人利用）

心の癒しや安定、機能の維持、回復の促進を図るため、講師の指導により月1回行った。

②社会適応訓練（2事業 68回実施）

ア パソコン（47回実施 225人利用）

毎週金曜日に、自己表現や意思の伝達手段、インターネット等を講師の指導により行った。

イ ストレッチ体操（21回実施 130人利用）

軽運動やダンスをとおして自己の運動能力の維持、助長等を図るため、講師の指導により月2回行った。

③創作的活動（2事業 243回実施）

ア 書画（10回実施 55人利用）

絵画、習字をとおして自己表現や感性を磨き、手指機能の維持、回復を図るため、講師の指導により行った。

イ 軽作業（233回実施 1,569人利用）

障害の状態や能力に応じてマット編み、レザー製品作り等を行った。

④レクリエーション（12回実施 99人利用）

レクリエーション活動を月1回行った。（社会見学、スポーツ大会、カラオケ等）

⑤入浴（238回実施 1,315人利用）

家庭での入浴が困難な障害者に入浴サービスの提供を行った。

⑥送迎（496回実施 1,671人利用）

自力通所や家庭送迎が困難な障害者が、一日でも多く利用できるよう送迎を行った。

⑦介護指導（1回実施 6人参加）

消防署職員の指導のもと、異物除去の介護方法やAED（除細動器）を使った心肺蘇生法などについての講習を受けた。

⑧健康指導（454回実施 454人利用）

障害者の疾病に留意し、血圧・検温のほか状態観察、健康管理、ケア等を行った。

2 合同行事

①法人創立35周年記念ときわバザー

ふじの木園、ときわ作業所、ニコットを会場として各施設製品、保護者製品の販売、ゲーム等、様々なイベントを通して地域の人々と交流や施設、福祉についての理解を深めていただくことができた。

開催場所 すいとびあ江南

②法人創立35周年記念交流会

ふじの木園、ときわ作業所、小規模授産施設の利用者と食事を楽しみながら、法人の創立35周年と成人者を祝い、交流を深め楽しい時間を過ごすことができた。

3 貸館事業

- ・施設利用（21回実施 233人利用）

市内の障害者団体及びボランティア団体等の施設利用に対する調整・管理を行った。

4 その他

- (1) あゆみ夏まつり（あゆみエンジョイSummer）について

新たな行事として利用者、障害者同士のふれあいの場作りを目的として法人内の利用者や介護者、関係者が集いゲームや踊りなどを一緒に楽しみ、親睦を深めることができた。

- (2) 介護浴槽の導入について

座位保持できない利用者が安全に入浴できるよう介護浴槽の導入に向けて江南市と協議し、平成28年度から導入することになった。

- (3) 非常災害対策計画の見直しについて

災害時における職員の緊急連絡網、避難計画等の内容について見直しを行った。

平成27年度 デイサービス施設あゆみ行事等報告

(1) 行 事

月 日	行 事 等	
4. 21	あゆみ田楽会	
7. 28	あゆみエンジョイSummer	
9. 12	人にやさしい作品展	障害者（児）連絡協議会
～13	(江南市民文化会館)	
9. 15	社会見学（名古屋港水族館）	
10. 8	避難訓練	
11. 1	法人創立35周年記念ときわバザー	
12. 15	あゆみクリスマス会	
1. 14	法人創立35周年記念交流会	
1. 26	あゆみ新年会	
2. 25	介護教室	
3. 29	尾北高校交流会（ふれあい音楽会）	
3. 23	避難訓練	

(2) 視察・福祉体験学習など

月 日	内 容	
5. 28	見 学	〔宮田小学校2年 25名〕
7. 1	実 習	〔一宮特別支援学校(生徒、教師 各1名) 2名〕
～3		
8. 3	研 修	〔尾北高校教師 3名〕
～4		
10. 7	実 習	〔一宮特別支援学校(生徒、教師 各1名) 2名〕
～8		
3. 25	見 学	〔利用希望 1名〕

(3) バザー参加

月 日	他団体協力バザー
4. 25	藤まつり

利用者の状況

平成28年3月31日現在

1 利用者年齢別 (人)

年齢	男	女	計
20歳未満	1	0	1
20～29	2	1	3
30～39	2	2	4
40～49	0	2	2
50～59	0	1	1
60以上	2	2	4
合計	7	8	15

2 障害支援区分 (人)

障害支援区分	男	女	計
6	3	5	8
5	1	1	2
4	1	0	1
3	2	2	4
2	0	0	0
1	0	0	0
合計	7	8	15

3 利用日数の構成 (人)

利用日数	男	女	計
20日以上	6	3	9
10～19	0	2	2
1～9	1	3	4
合計	7	8	15

1 利用者の事業別利用状況

・事業日数 242日 ・利用延べ人員 1,708人 ・1日あたりの平均利用人員 7.1人

講座名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		
	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	
機能訓練	日常生活動作訓練	2	16	2	15	2	16	2	17	2	18	2	15	2	15
	機能回復訓練	6	42	7	50	6	38	7	49	5	37	6	42	7	55
	家事訓練	1	8	1	6	1	7	1	7	1	8	1	8	1	9
	音楽療法	1	7	1	6	1	8	1	8	1	8	1	7	1	8
	和太鼓療法	1	8	1	7	1	6	1	8	1	6	1	6	1	6
小計	11	81	12	84	11	75	12	89	10	77	11	78	12	93	
社会適応訓練	パソコン	4	18	5	24	4	19	3	13	3	16	4	23	5	29
	ストレッチャ	2	12	1	7	2	15	2	14	2	12	1	8	2	14
	小計	6	30	6	31	6	34	5	27	5	28	5	31	7	43
	書画	1	5	1	5	1	6	1	6	0	0	1	7	1	6
創作的活動	軽作業	21	134	18	123	22	153	20	148	18	134	18	132	20	160
	小計	22	139	19	128	23	159	21	154	18	134	19	139	21	166
	レクリエーション	1	8	1	7	1	9	1	11	1	8	1	7	1	10
入浴サービス		21	112	18	106	22	122	22	116	18	109	18	125	21	133
	送迎サービス	42	152	36	129	44	164	44	163	39	122	39	119	46	159
更生相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康指導		43	43	42	42	49	49	45	45	37	37	30	30	45	45
	介護指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	107	315	97	284	116	344	112	335	95	276	88	281	113	347	
総計	146	565	134	527	156	612	150	605	128	515	123	529	153	649	

事業名	講座名	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1回あたりの平均利用状況
		回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	
機能訓練	日常生活動作訓練	2	13	2	16	2	16	2	12	2	14	24	183	7.6
	機能回復訓練	6	39	6	36	6	38	6	33	6	34	74	493	6.7
	家事訓練	1	7	1	8	1	7	1	3	1	5	12	83	6.9
	音楽療法	1	6	1	6	1	4	1	6	1	6	12	80	6.7
	和太鼓療法	1	5	1	6	1	4	0	0	1	5	11	67	6.1
社会適応訓練	小計	11	70	11	72	11	69	10	54	11	64	133	906	6.8
	パソコン	4	18	4	17	3	15	4	15	4	18	47	225	4.8
	ストレッチ	2	14	2	10	1	5	2	10	2	9	21	130	6.2
	小計	6	32	6	27	4	20	6	25	6	27	68	355	5.2
	書画	1	5	1	5	0	0	1	4	1	6	10	55	5.5
創作的活動	軽作業	19	121	19	117	17	103	19	119	22	125	233	1,569	6.7
	小計	20	126	20	122	17	103	20	123	23	131	243	1,624	6.7
	レクリエーション	1	7	1	7	1	8	1	9	1	8	12	99	8.3
入浴サービス	入浴サービス	19	95	19	100	18	94	20	100	22	103	238	1,315	5.5(日)
	送迎サービス	39	134	38	128	39	119	41	130	49	152	496	1,671	3.3(回)
更生相談	更生相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	健康指導	32	32	33	33	32	32	30	30	36	36	454	454	1.0(日)
介護指導	介護指導	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	1	6	—
	苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
小計	小計	91	268	91	268	90	253	93	275	108	299	1,201	3,545	
	総計	128	496	128	489	122	445	129	477	148	521	1,645	6,430	

2 貸館事業利用状況

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
平日利用	1	10	1	20	1	15	2	20	0	0	0	0	1	9
休日利用	1	6	1	6	1	6	1	6	1	8	0	0	1	6
合計	2	16	2	26	2	21	3	26	1	8	0	0	2	15

月	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1ヶ月あたりの平均利用状況	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
平日利用	0	0	2	60	0	0	1	10	1	15	10	159	0.8	13.3
休日利用	1	6	1	6	1	8	1	8	1	8	11	74	0.9	6.2
合計	1	6	3	66	1	8	2	18	2	23	21	233		

3 見学者等の状況

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
見学者	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	1	2
実習	0	0	0	0	0	0	3	5	0	0	0	0	0	0
研修・体験	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	0	0
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	4	8	2	6	0	0	1	2

月	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1ヶ月あたりの平均利用状況	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
見学者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	8	0.3	0.7
実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
研修・体験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	16	0.6	1.3
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	10	24		

